

第 3 部 調査結果の詳細

第1章「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について

1 各戦略の施策に関連する項目についての満足度（問1、問2）

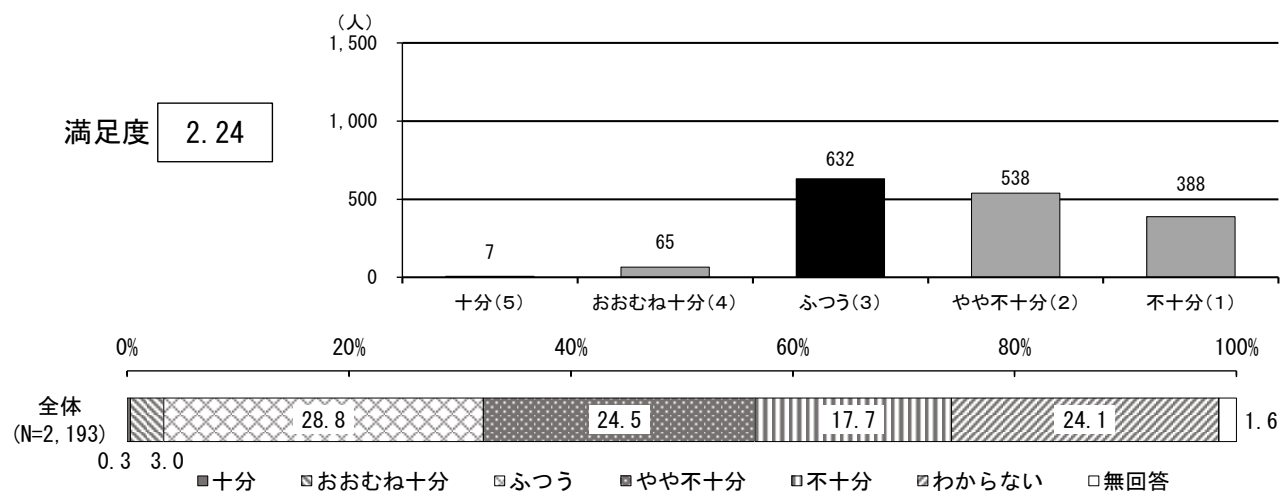
プランの各施策に関連する項目について、満足度を「十分（5）」～「不十分（1）」の5段階で質問した。

（1）戦略1 産業・雇用戦略について

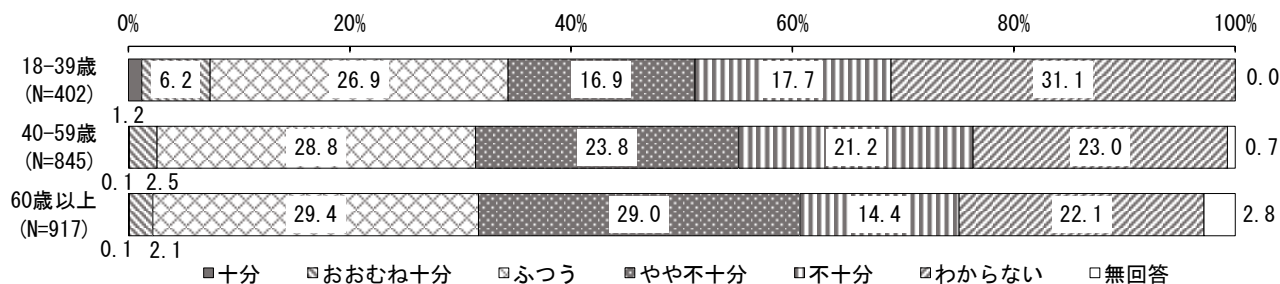
ア 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

問1-1 生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。

（a）満足度の状況



【年代別】



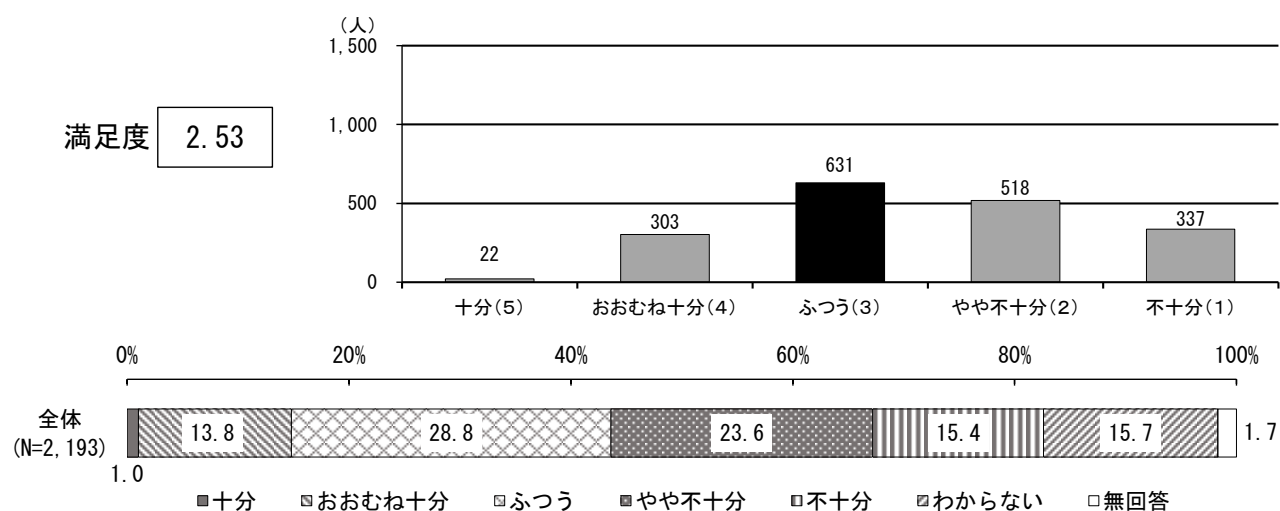
（b）回答の理由

- ・ 中小企業、小規模企業者が支えている大企業と比べると明らかに収益に差があり、職種間における需給のミスマッチが解消されていない。（不十分／男性／50歳代／雄勝地域）
- ・ ITや情報通信業を見た際に技術者が他県と比較して少なく、ICTを活用した生産性の向上は乏しいと感じる。（不十分／女性／70歳以上／仙北地域）
- ・ 一部の産業は十分だと思うが、全体的には競争力が高まっている実感がない。（ふつう／女性／50歳代／北秋田地域）

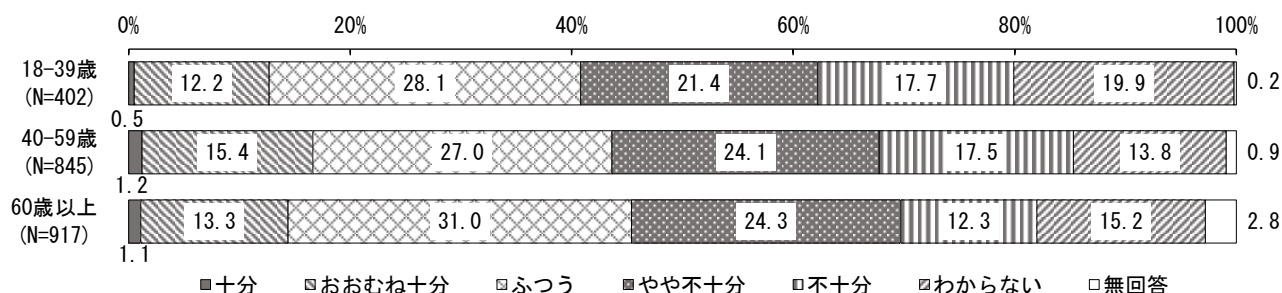
イ 地域資源を生かした成長産業の発展

問 1-2 輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長産業への参入が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



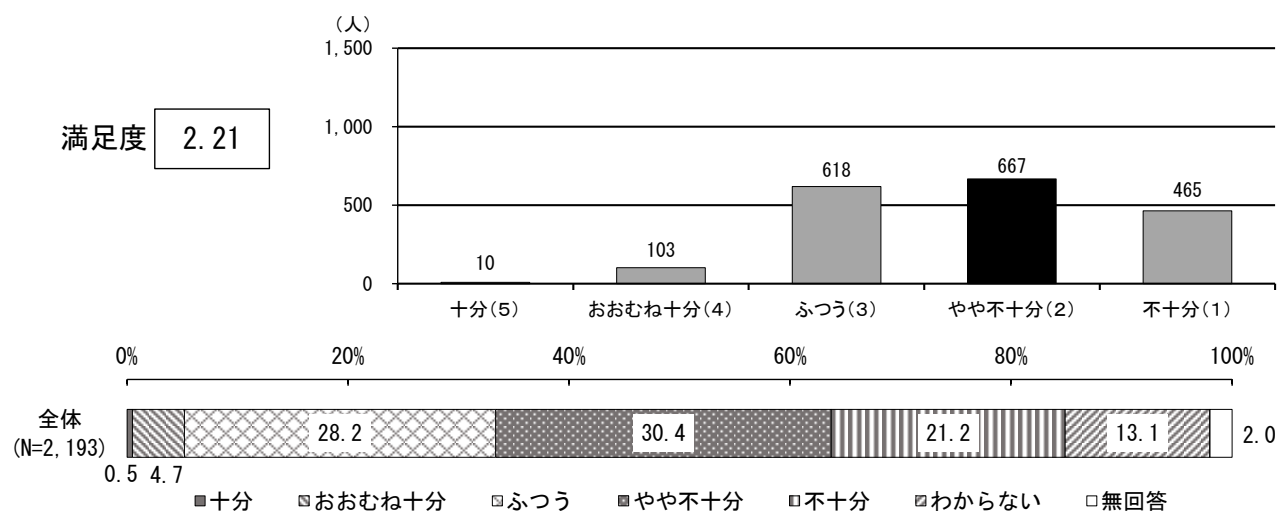
(b) 回答の理由

- 風力発電は耳にするが、他分野が進んでいる実感はあまりない。(やや不十分／女性／70歳以上／鹿角地域)
- 風力発電の必要性も理解できるが、海にも山にも林立するプロペラに景観が損われ、辟易している。(ふつう／女性／60歳以上／山本地域)
- 洋上風力はもちろん、県内企業の技術がローカルのニュースで取り上げられているのを見かける。今後も参入を続けてほしい。(おおむね十分／男性／20歳以上／平鹿地域)

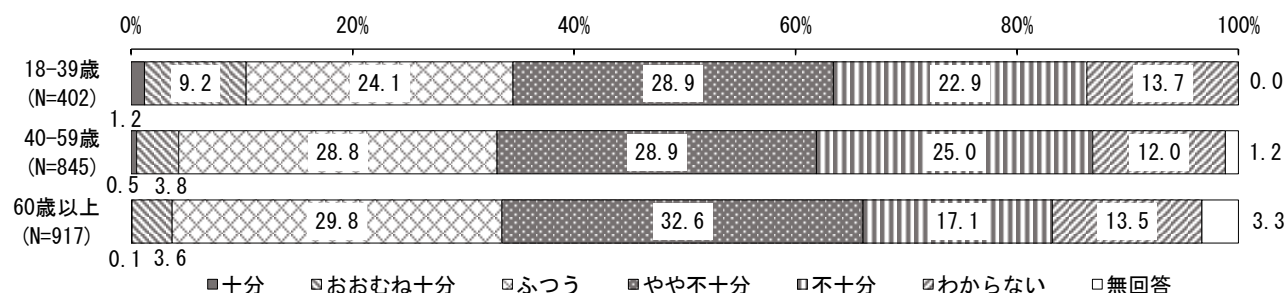
ウ 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

問 1-3 地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



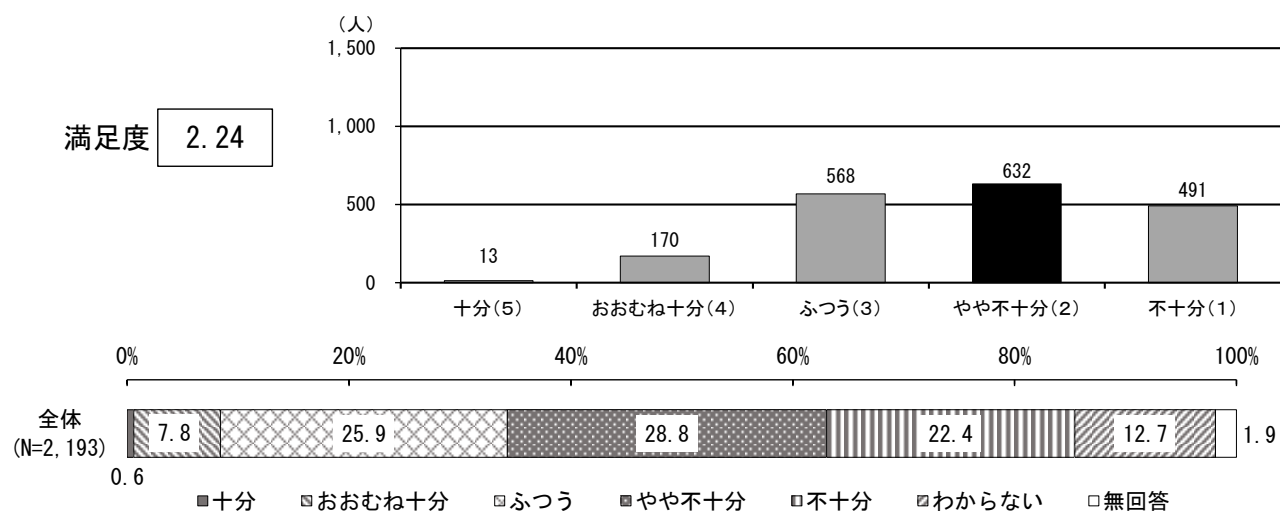
(b) 回答の理由

- ・ 伝統工芸を広めるにしても、担い手が不足しており、活性化しているとは思えない。(不十分／女性／20 歳代／仙北地域)
- ・ 伝統的工芸品は、まだ販路開拓に力を入れた方が良い。伸びしろがある。(やや不十分／女性／60 歳代／秋田地域)
- ・ 工芸品は県外にアピールできている。建設業の人材確保や賃上げが追いついていない。(ふつう／男性／40 歳代／秋田地域)

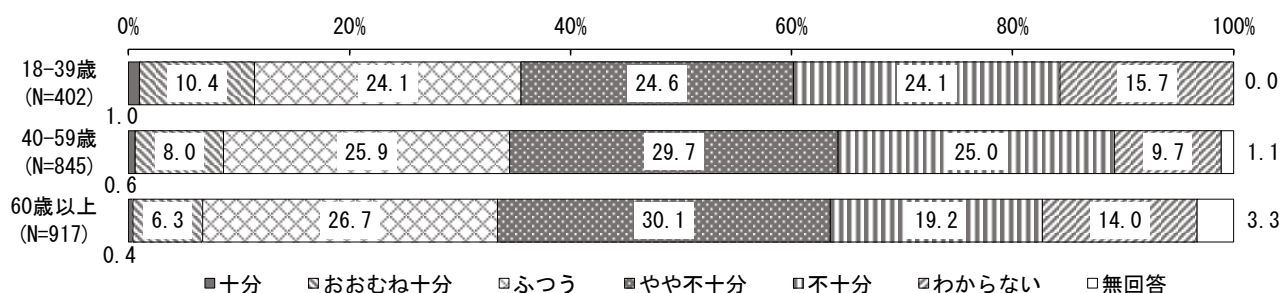
エ 産業振興を支える投資の拡大

問 1-4 立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

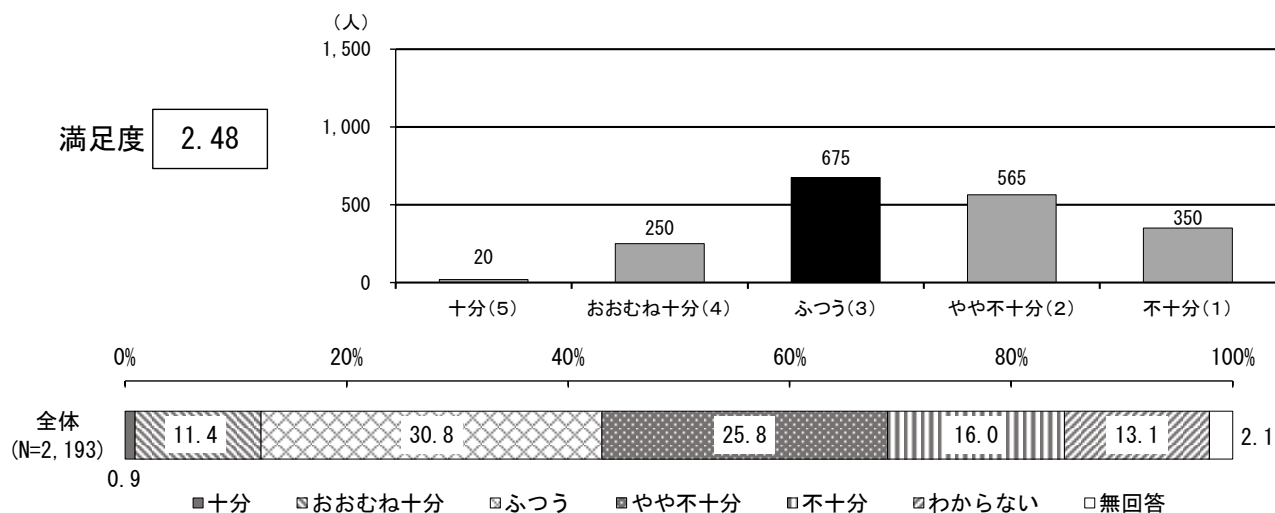
- 誘致企業が来ても、若者が残るやりたい企業が来ない、来ていない。仕事があればいいのではなく、将来の若者のためのやりたい仕事、その点に注目して企業誘致をしてほしい。(不十分／男性／50歳代／雄勝地域)
- 風力に偏りすぎているように感じる。多様な業種で誘致を推進してもらいたい。(不十分／男性／50歳代／仙北地域)
- 工業団地に企業を誘致した記事を見て良かったと思うが、若い人たちが地元に残る気持ちをもってもらうには不十分と感じる。(やや不十分／女性／60歳代／平鹿地域)

(2) 戦略2 農林水産戦略について

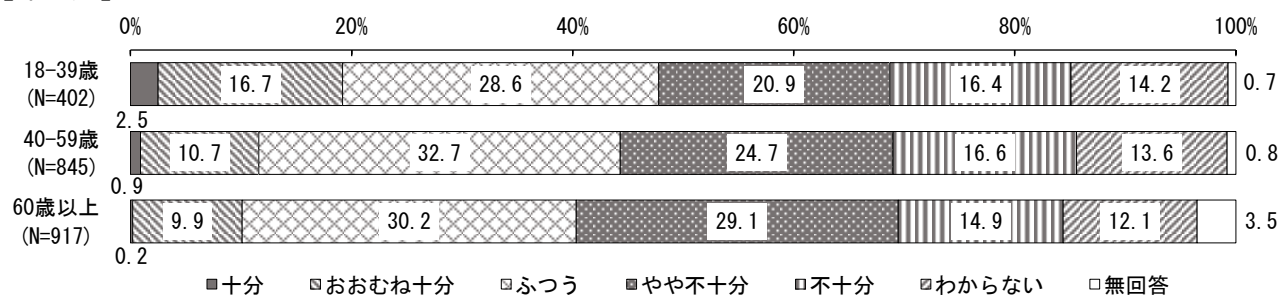
ア 農業の食料供給力の強化

問 1-5 経営力の高い担い手等が活躍し、我が国の食料供給に貢献している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



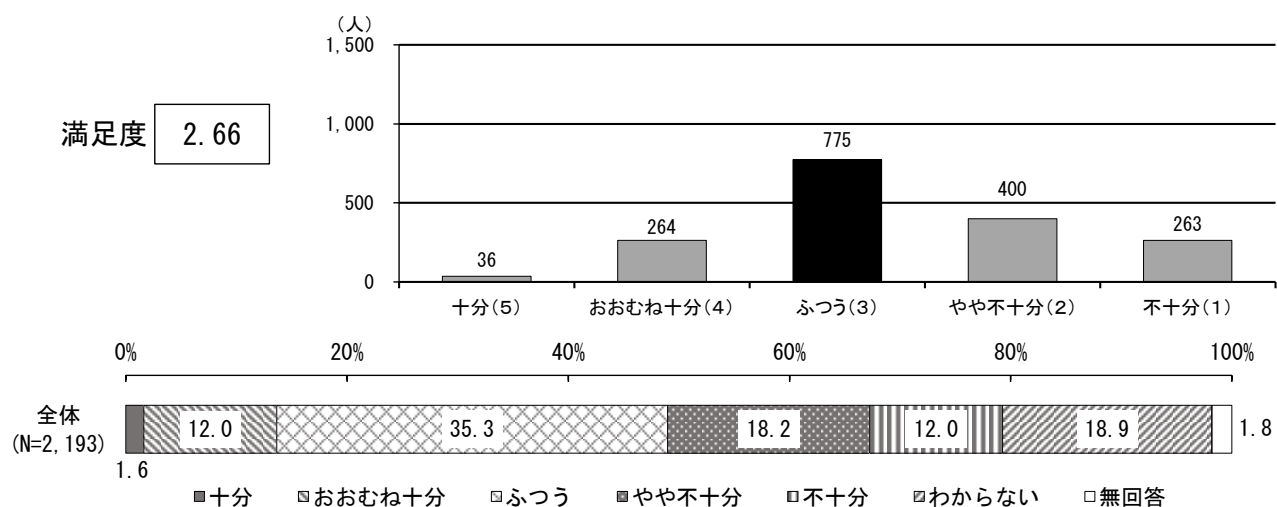
(b) 回答の理由

- 秋田に移り住んでから農産物のおいしさに驚いた。米以外の果実・枝豆・舞茸・アスパラ・じゅんさい等、首都圏でNo.1産地としての地位を十分得られる品質と思われる。もっとブランド化に注力し、県外・国外にアピールしてほしい。(やや不十分/女性/60歳代/秋田地域)
- 農業に若者が参入してきていると思うが、まだ行政において協力体制ができていないと思う。地域行政の後押しがあれば、もっと担い手が増えてくると思う。(やや不十分/男性/60歳代/仙北地域)
- 担い手が頑張っているようだが、指導者が足りていないのではないかと感じている。(ふつう/女性/70歳以上/鹿角地域)

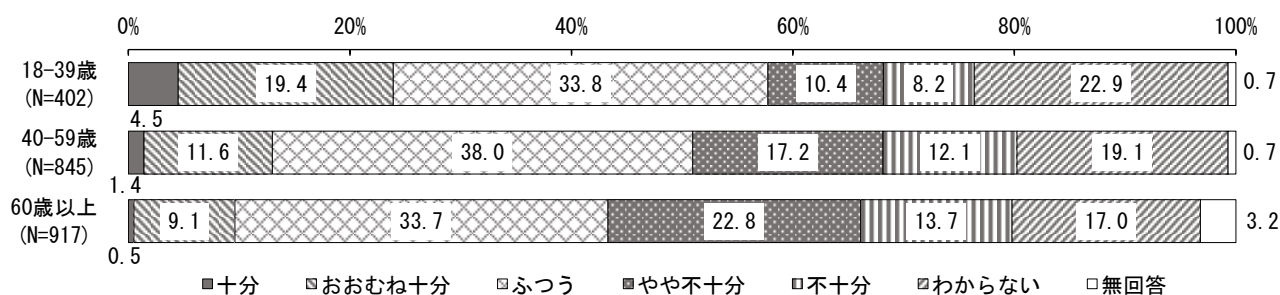
イ 林業・木材産業の成長産業化

問 1-6 「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



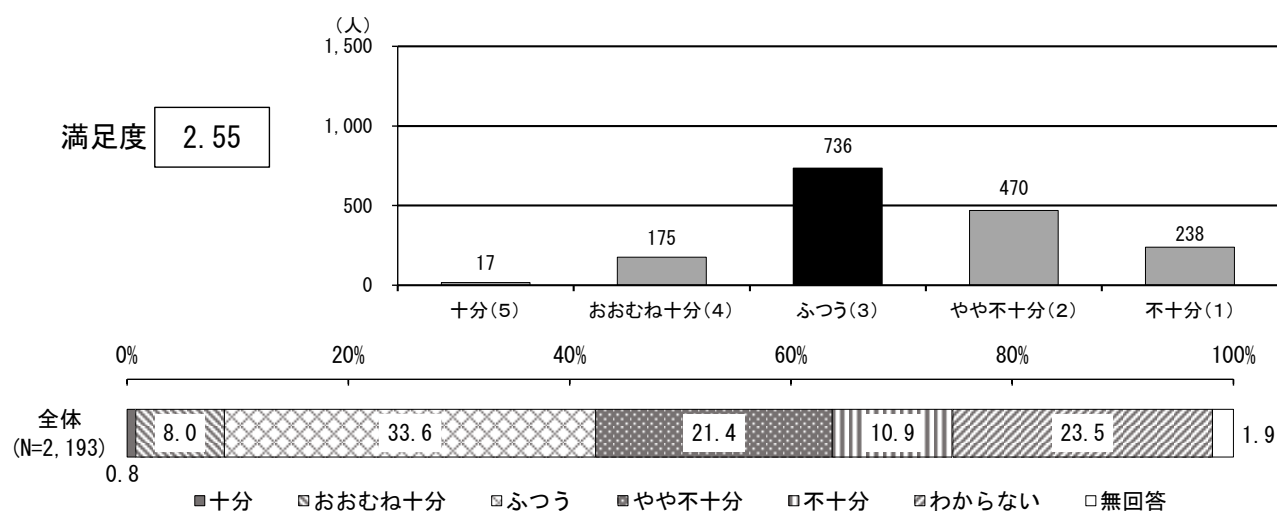
(b) 回答の理由

- 木が伐採され、山肌が目立っているという印象がある。(やや不十分／女性／10 歳代／秋田地域)
- 伐って使っては見えるが、植える、整備するまでには至っていないように感じる。(やや不十分／女性／50 歳代／仙北地域)
- 木材産業は木を植えてから製品になるまでの期間が長く、管理負担もかかるのがネック。柾目、板目の美しい秋田スギの造成により、付加価値の高い製品にどう結び付けるかが大事となってくるのではないかと思います。(やや不十分／男性／60 歳代／秋田地域)

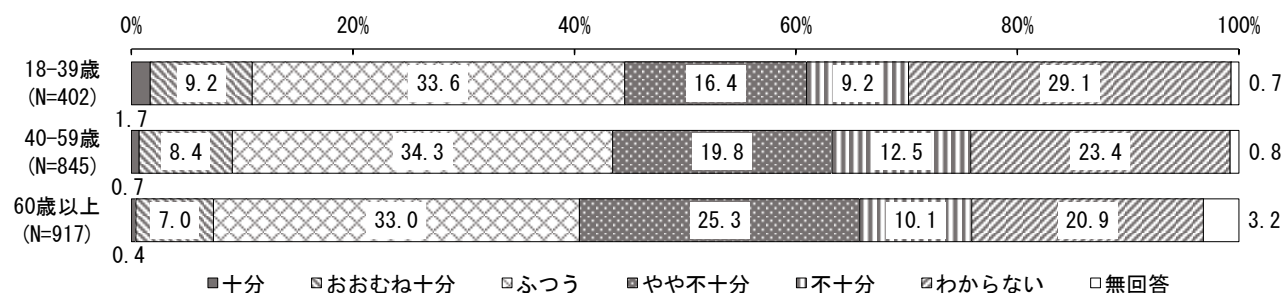
ウ 水産業の持続的な発展

問 1-7 蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



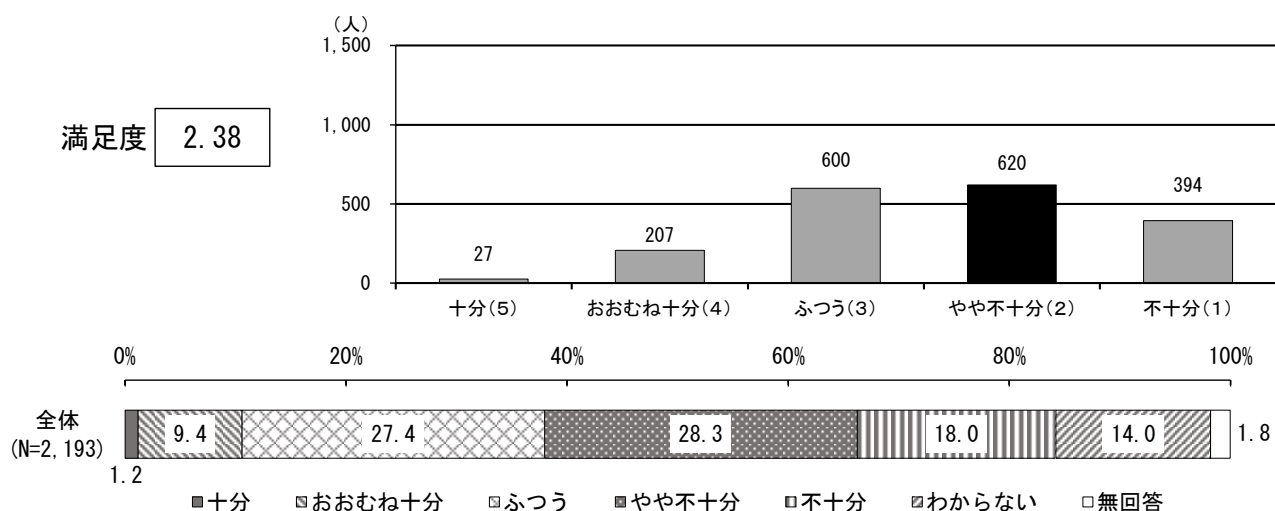
(b) 回答の理由

- ・ オンライン販売をしているということが、あまり周知されていないように感じる。(やや不十分/女性/20歳代/秋田地域)
- ・ 蓄養殖や水産物の情報をあまり聞かないため、PRが足りないと感じる。外部への発信に力を入れてほしい。(やや不十分/男性/40歳代/秋田地域)
- ・ サーモンなどの養殖が緒についた。一層の拡大・定着が望まれる。ハタハタについても、日本海沿岸地域の連携で、資源量の回復に努めてほしい。(ふつう/男性/70歳以上/鹿角地域)

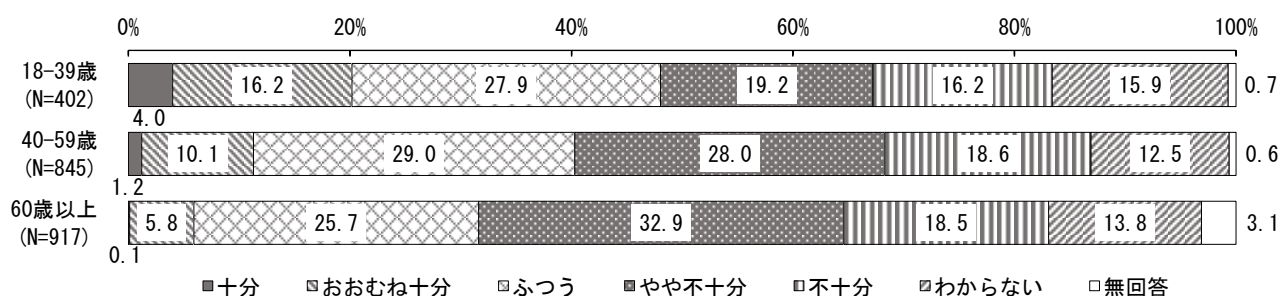
エ 農山漁村の活性化

問 1-8 農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

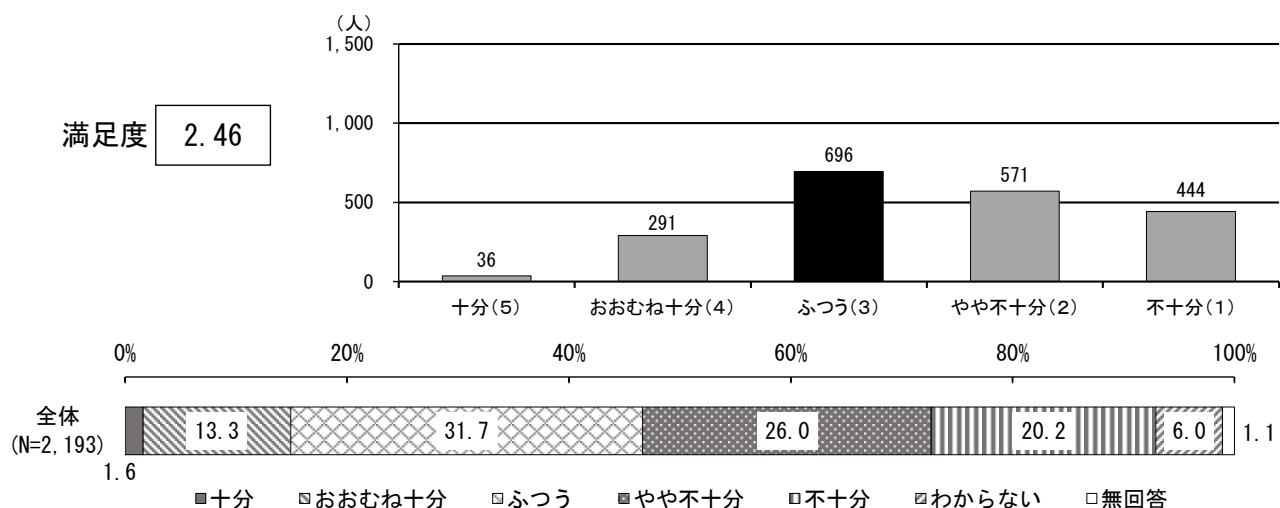
- 新しい農家レストランや民宿の情報があるが、活性化までの大きなムーブメントになっていないように感じる。(やや不十分/女性/40歳代/平鹿地域)
- 一部の民宿でやっているようだが、やはり高齢化が進み、長くは続かない。農村の良さをアピールして、後継者の育成に力を入れなければいけない。(やや不十分/男性/70歳以上/北秋田地域)
- 各農家の得意とする野菜や果物などの優れている部分を前面に出し、民宿やレストランを続けてほしい。(ふつう/女性/50歳代/秋田地域)

(3) 戦略3 観光・交流戦略について

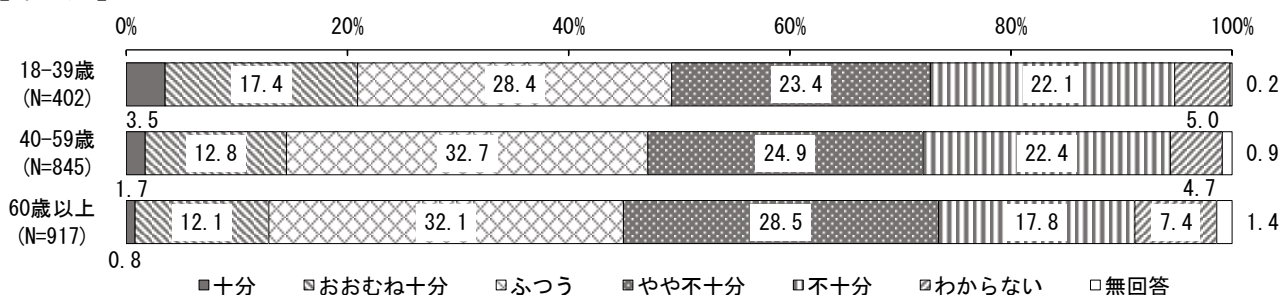
ア 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出

問 1-9 秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



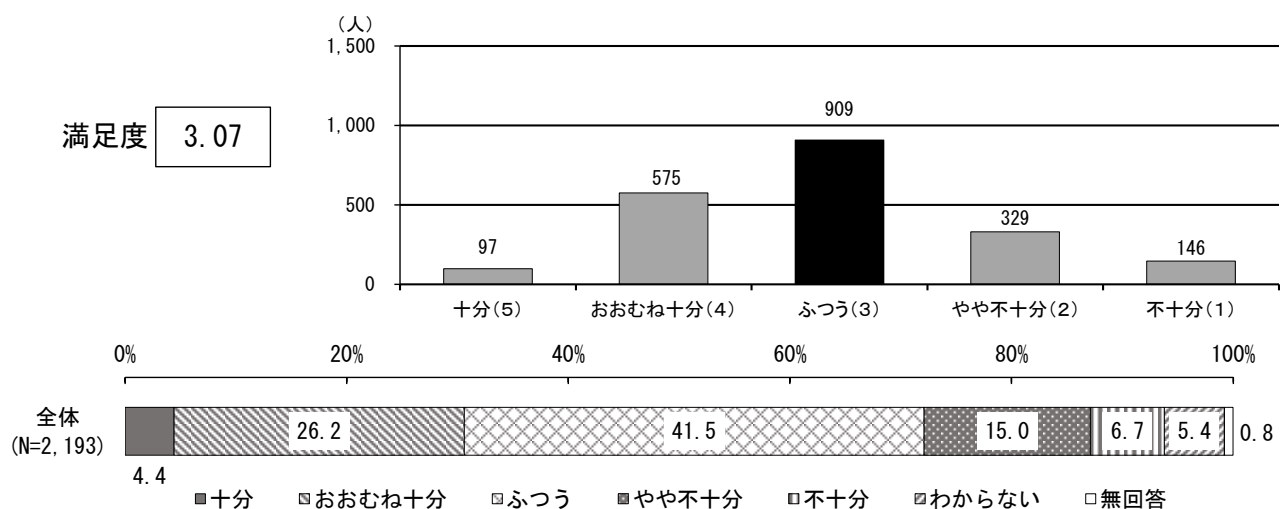
(b) 回答の理由

- 観光客の利便性が更に上がるように、インフラ整備をした方が良い。観光地間の移動に時間を要する。(やや不十分／男性／50歳代／秋田地域)
- 台湾直行便のおかげで客は増えていると感じるが、「魅力が向上した」かどうかはピンとこない。元々ある自然などの資源が生きているのではないか。(ふつう／女性／40歳代／由利地域)
- 大館では、特に秋田犬の里に観光客の姿が見られる。既存の観光資源にプラスαするように、秋田の良さを生かしながら新しいものを取り入れるという柔軟な発想を持って、秋田県の観光を進めてほしい。(おおむね十分／女性／20歳代／北秋田地域)

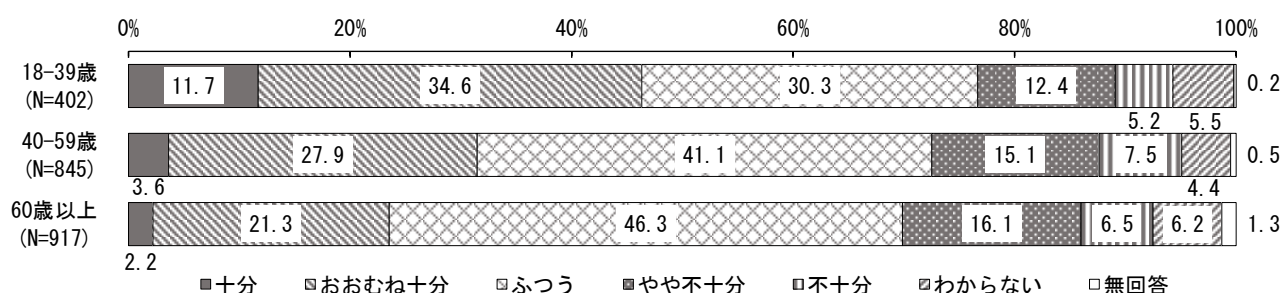
イ 「美酒・美食のあきた」の創造

問 1-10 食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



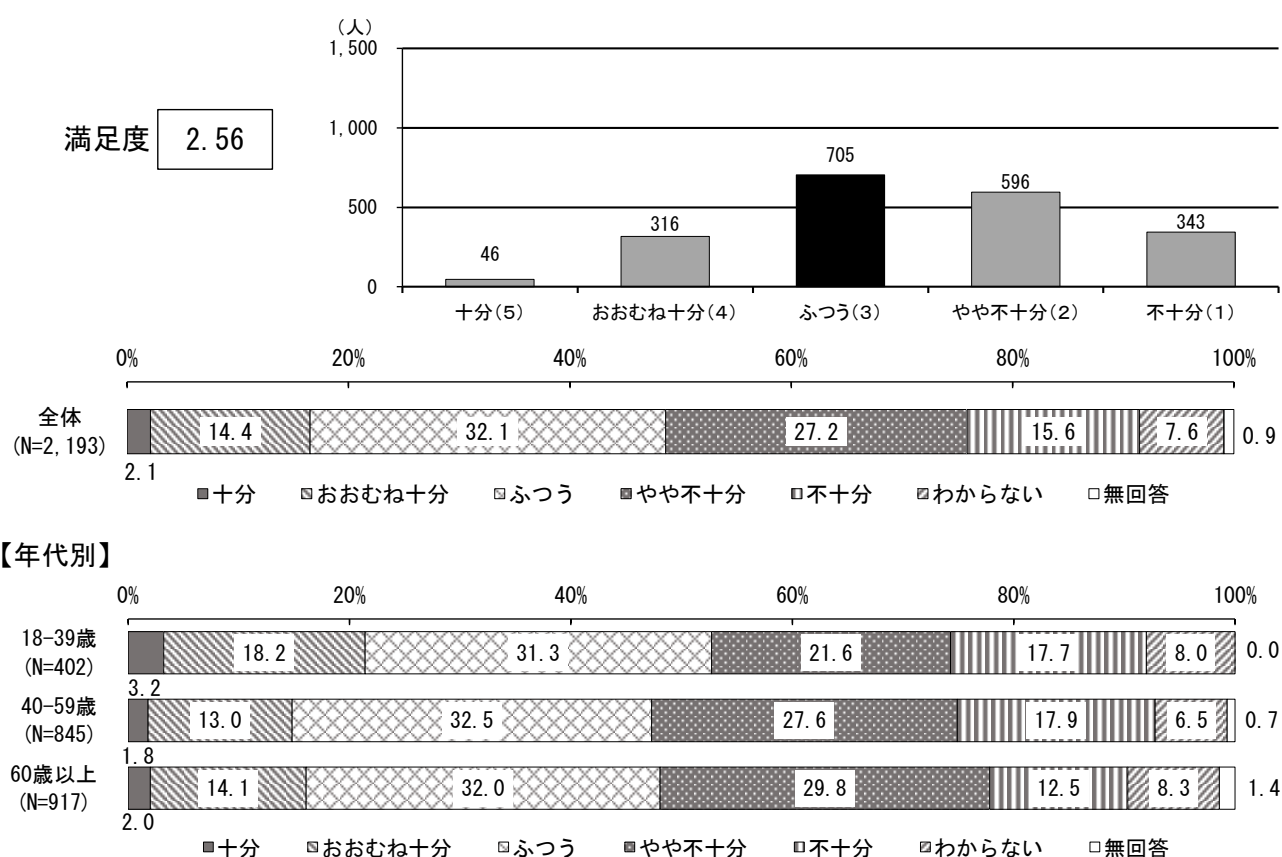
(b) 回答の理由

- いぶりがっこ等の食べ物は、県外の居酒屋で意外と見かけるが、秋田の物と認識せず食べている人が多い印象である。もっと秋田色をPRすれば更に注目が高まるのでは、といつももどかしい気持ちになる。(やや不十分/女性/20歳代/秋田地域)
- 宣伝は、もっと若者、子育て世代に目を向けるべき。漬物、発酵食品、米、きりたんぽ、ハタハタ、山菜の宣伝を見ても、若い世代には全く響かない。(ふつう/男性/30歳代/由利地域)
- 秋田の日本酒、発酵食品はいいと思う。米のイメージが強い秋田だからこそ、強みにしてほしい。(おおむね十分/女性/40歳代/平鹿地域)

ウ 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

問 1-11 国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。

(a) 満足度の状況



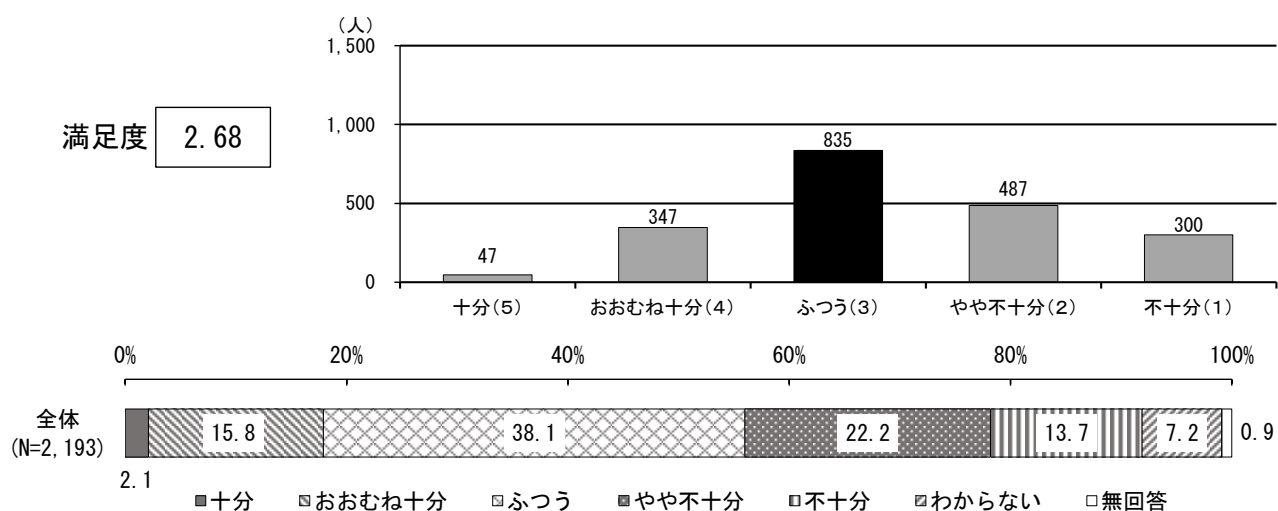
(b) 回答の理由

- あまり秋田の情報発信を見かけない。同じものしか発信しておらず、もっと多くのいいものがあると思う。(不十分／女性／40歳代／秋田地域)
- SNS等により日本の文化を紹介するものの中に、秋田が含まれていることはあっても、秋田ならではの文化としての認識は低いように思う。(やや不十分／女性／50歳代／平鹿地域)
- ミルハスも素晴らしいし、東北の交流祭りなどもすごくいいと思う。人材育成にもっともっと取り組んでほしい。(ふつう／男性／60歳代／秋田地域)

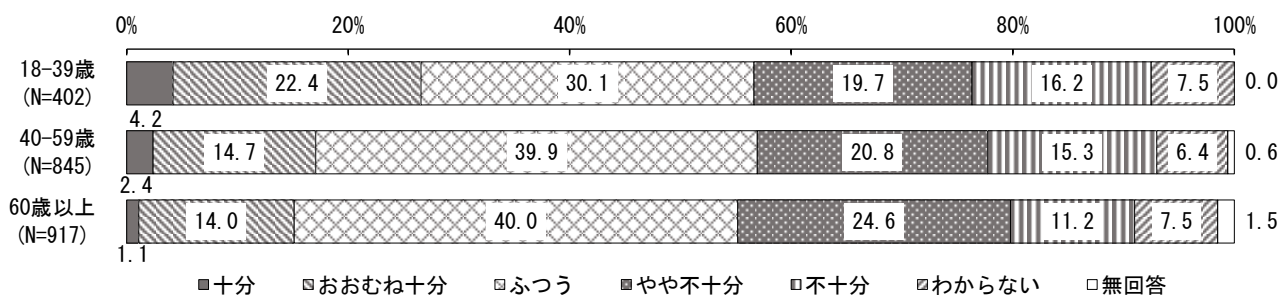
エ 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

問 1-12 スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



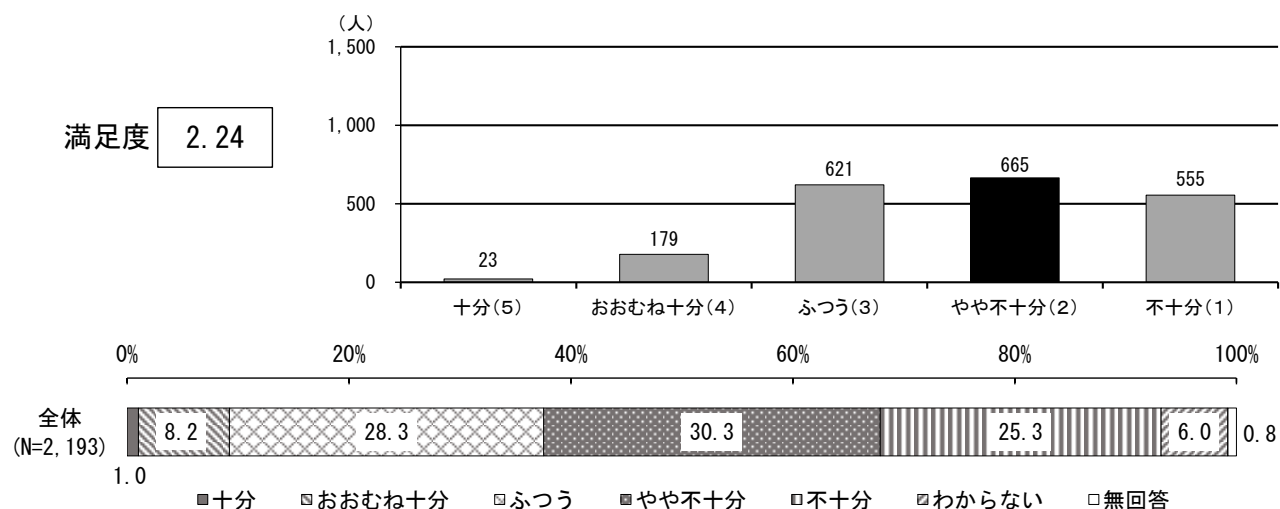
(b) 回答の理由

- 設備が不十分な環境が多く、スポーツイベントは限られた地域でしか開かれない。(不十分／女性／50歳代／仙北地域)
- アスリート育成が強化されているが、一般県民のスポーツや健康のための運動促進に力を入れてほしい。(ふつう／女性／30歳代／秋田地域)
- バスケットボール、サッカー、ラグビー等で活躍するチームを応援する県民が多く、活力とにぎわいがもたらされている。(十分／男性／60歳代／秋田地域)

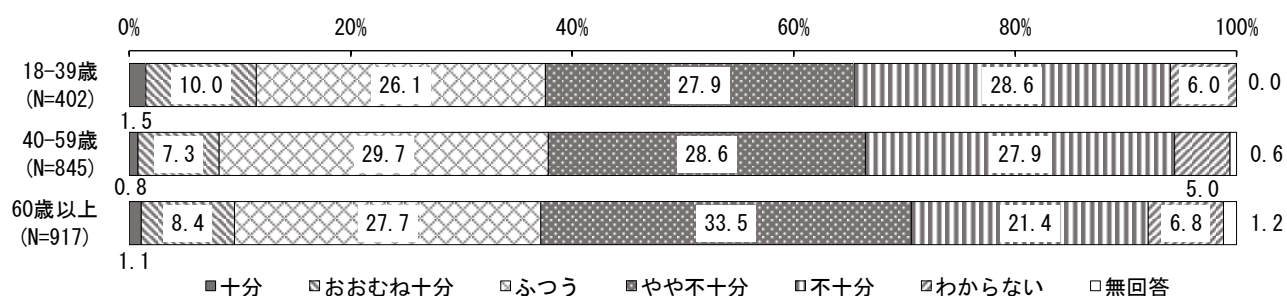
オ 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

問 1-13 国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通が整備されている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

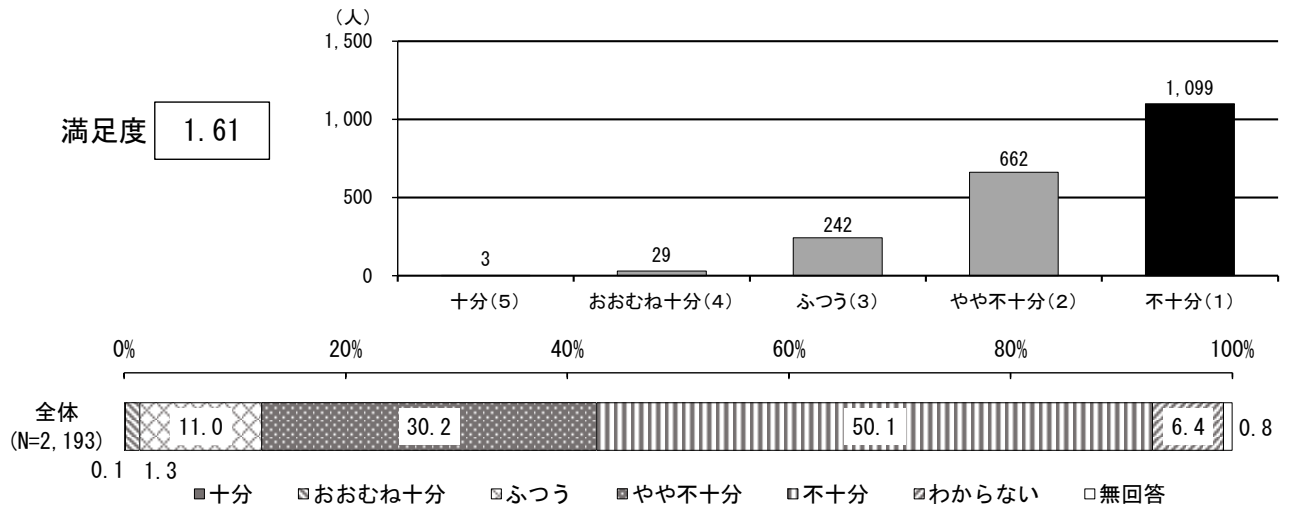
- 新規整備よりも、既存インフラの維持に注力してほしい。観光地でも、国道、県道の劣化（穴など）が目に見える。（不十分／女性／40歳代／鹿角地域）
- 車を運転できないと、買い物にも受診にも行けない人たちが多く見られる。公共交通機関の維持は大切だと思う。バスも18時以降は使えず、タクシーも24時間利用できないところでは、高齢者でも車の運転をするしかなくなる。（不十分／女性／50歳代／雄勝地域）
- 整備されつつあり、利便性を実感しているが、他県と比べると地理的要因（不利）が感じられる。（ふつう／男性／70歳以上／秋田地域）

(4) 戦略4 未来創造・地域社会戦略について

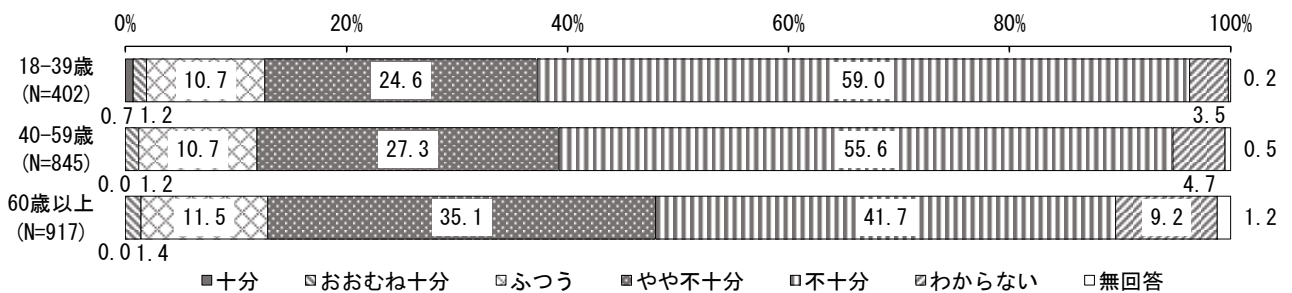
ア 新たな人の流れの創出

問 1-14 秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



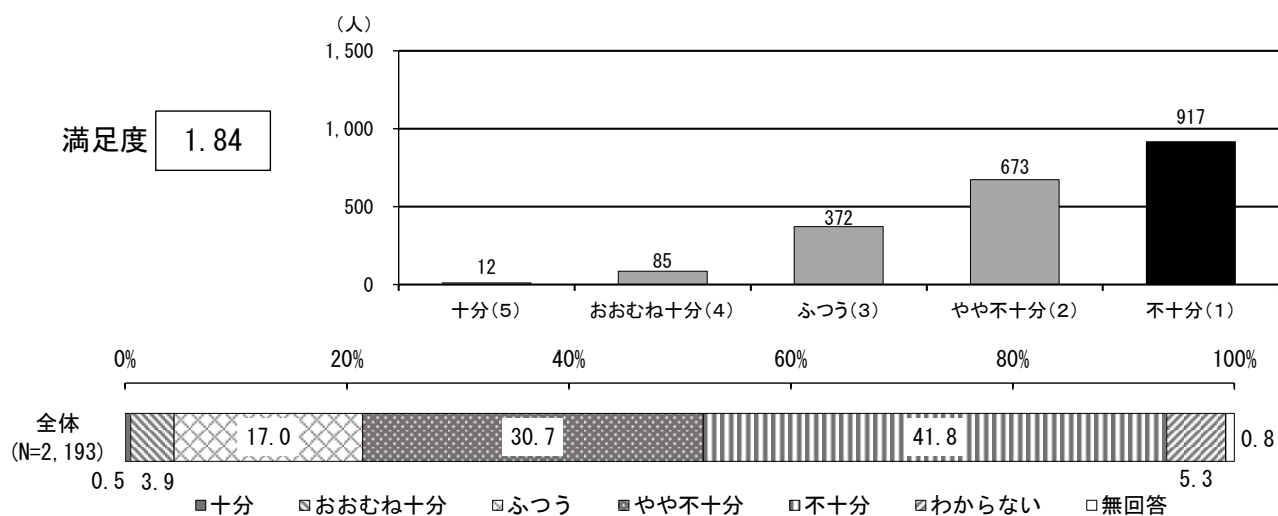
(b) 回答の理由

- 専門性の高い人材や大卒の雇用の場が少ない。(不十分／男性／20歳代／北秋田地域)
- テレワーク等ができる職業であったり、秋田でしかできない農業だったりがあれば移住は考えるだろうけれど、この賃金の低さでは、秋田に戻る人、移住する人が少ない気がする。(やや不十分／女性／30歳代／仙北地域)
- 県外の大学に行っても、秋田に帰ってきて就職する人が増えてきたように感じる。(おおむね十分／女性／30歳代／秋田地域)

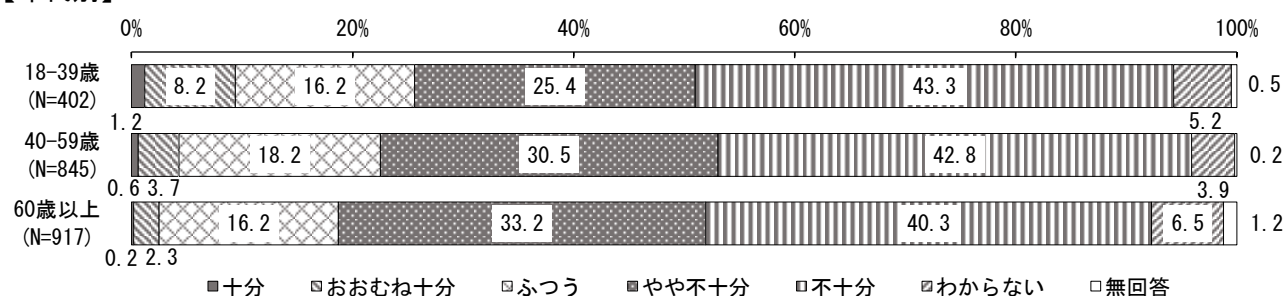
イ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

問 1-15 結婚し、安心して出産・子育てができる社会になっている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



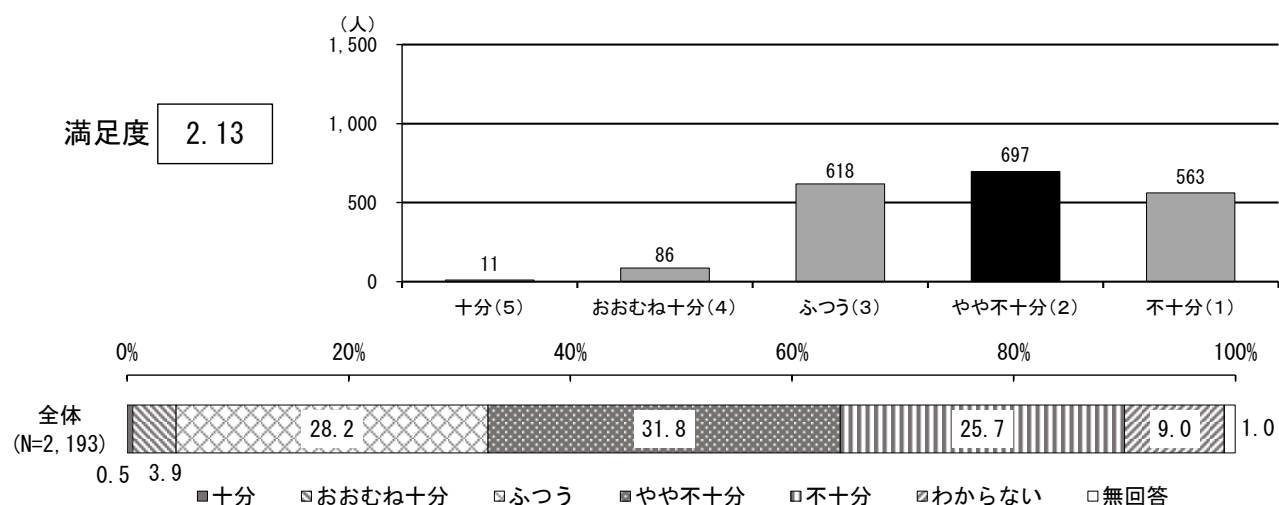
(b) 回答の理由

- 小学生までは何とかなるが、中学生、特に高校生になるととてもお金がかかり、不安になる。サポートがない。(不十分／女性／40歳代／秋田地域)
- 共働きが増えているが、働きやすくする(長時間預ける)ことに力を入れるよりも、早く帰宅し子どもと過ごせるよう、ワークライフバランスの向上に力を入れてほしい。(やや不十分／女性／30歳代／秋田地域)
- 結婚した後も賃金などの不安がある。賃金が都市部と同程度での水準で推移する、安心かつ安定して過ごせる社会の構築が今後必要だと思う。(おおむね十分／男性／20歳代／秋田地域)

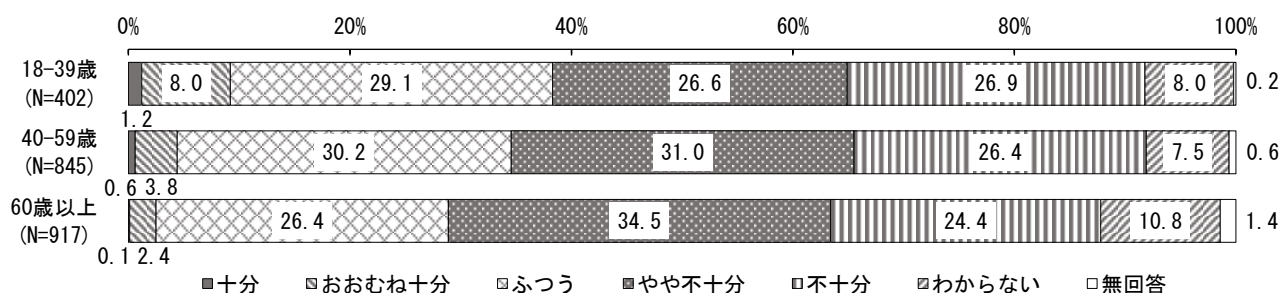
ウ 女性・若者が活躍できる社会の実現

問 1-16 女性や若者が様々な分野において、その能力や個性を発揮して活躍している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



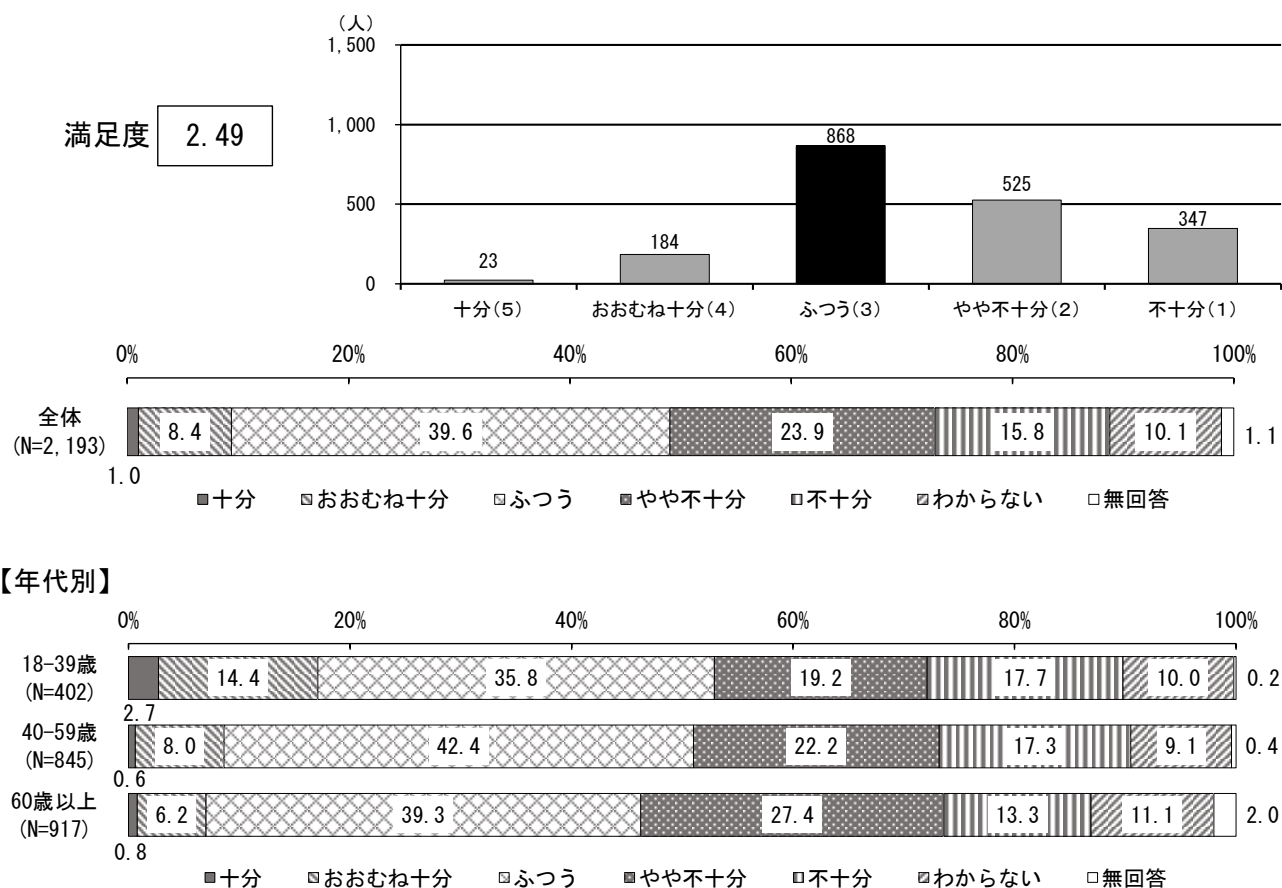
(b) 回答の理由

- 女性の社会進出を期待するのであれば、キャリアを選ぶ女性をもっと脚光を浴びるような取組をしてほしい。独身で、好きなように仕事に励む女性が少なすぎて、肩身が狭い思いになり、結局都会の自由な働き方に流れてしまうと思う。もっと身近にロールモデルがいたらと常を感じている。(不十分／女性／20歳代／秋田地域)
- 若者が仕事に就いても、圧倒的に年配の人たちが多く中で、若い人の意見をなかなか汲み上げてもらえない。(やや不十分／女性／60歳代／秋田地域)
- 自社でも女性の活躍を目にしているので、これから増えてくれるのを期待している。(ふつう／男性／30歳代／山本地域)

エ 変革する時代に対応した地域社会の構築

問 1-17 優しさと多様性に満ちた秋田において、協働等を通じて安心して生活できる地域社会となっている。

(a) 満足度の状況



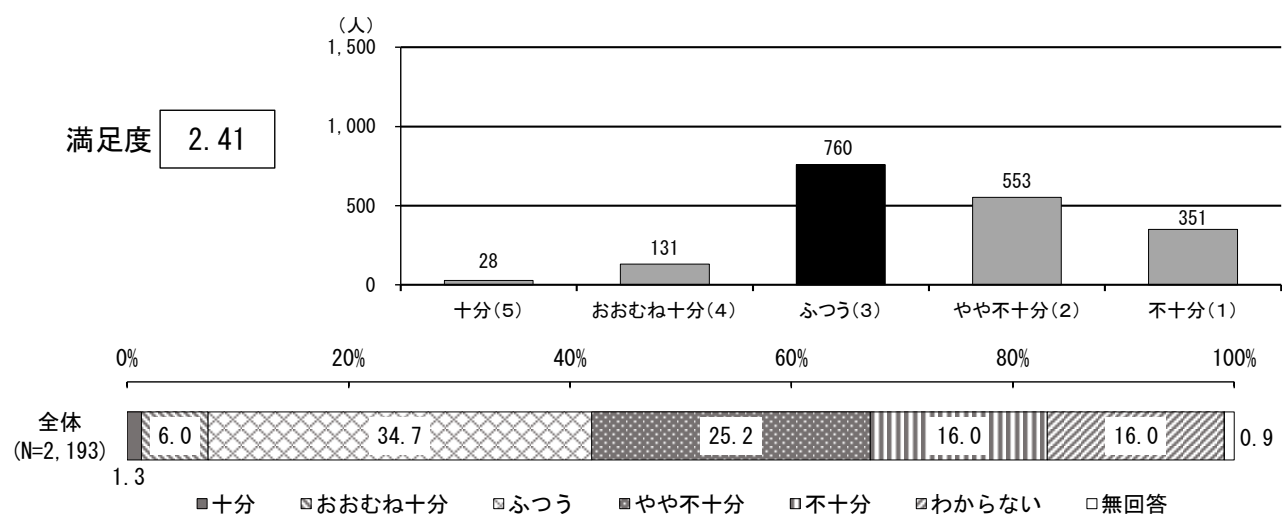
(b) 回答の理由

- ・ 優しさは十分あると思う。しかし多様性に満ちているかと言われると、そうではない気がする。(やや不十分/男性/20歳代/由利地域)
- ・ 人口減少により、過疎化が進み、心なしか閉鎖的な風土になっていくのを感じる。(やや不十分/男性/40歳代/秋田地域)
- ・ 多様性に関しては、まだまだ偏見や忌避する言動態度も多く、開かれたとは言えないが、受け入れようとしている人たちも増えていると感じる。(おおむね十分/女性/30歳代/秋田地域)

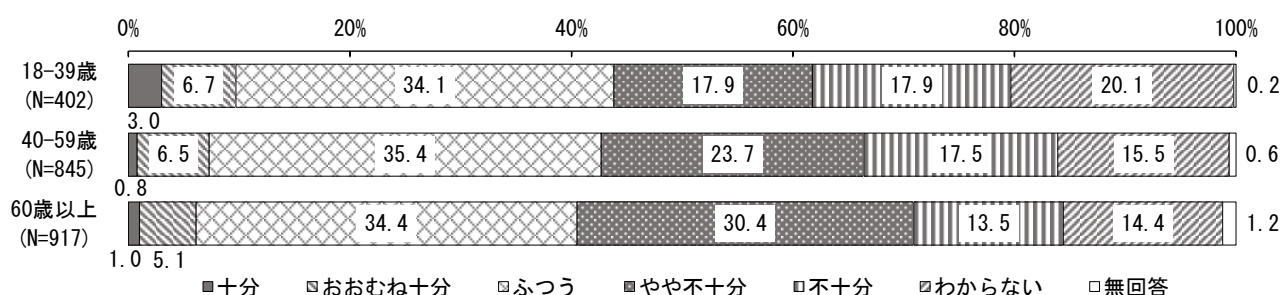
オ 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

問 1-18 地域住民、事業者、行政等と一緒に、地球温暖化対策に取り組んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



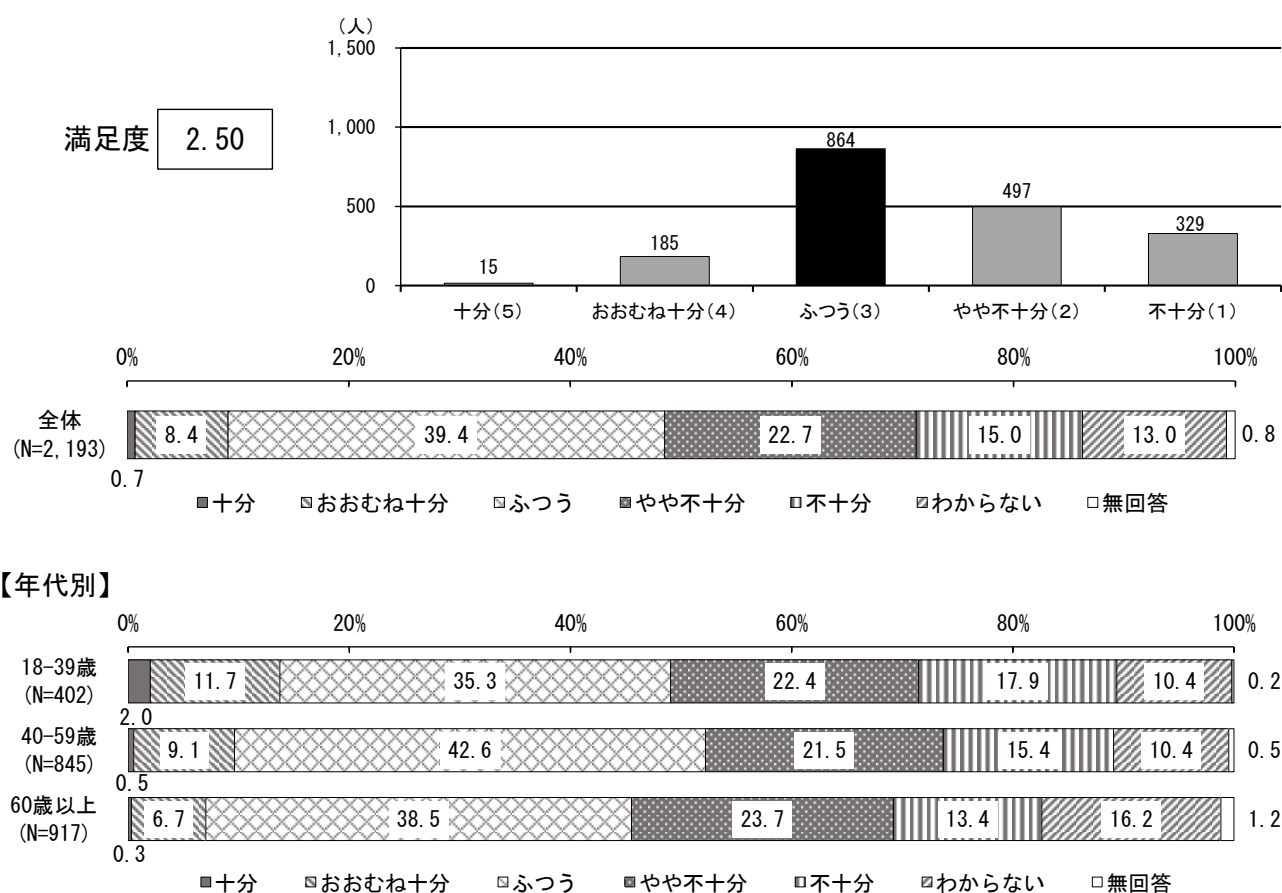
(b) 回答の理由

- 身の回りで対策に取り組んでいる地域住民や事業者を知らない。(やや不十分／男性／30歳代／秋田地域)
- 環境問題に対する認識はだいぶ上がってきていると思う。ゴミの分別やエコ活動など小さな活動が大切だと思う。(やや不十分／男性／50歳代／平鹿地域)
- 企業単位ではCSR、SDGs等具体的な取組が見られるが、個々でやっている方は少ない気がする。(ふつう／男性／50歳代／由利地域)

カ 行政サービスの向上

問 1-19 デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。

(a) 満足度の状況



(b) 回答の理由

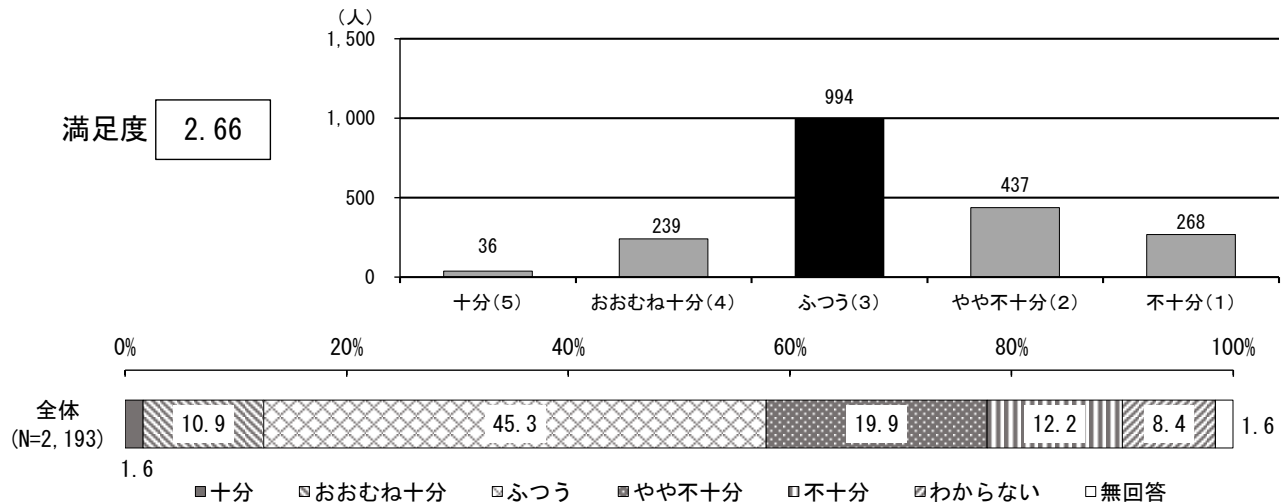
- デジタル化が進んでも使い方が分からなければ不便。(不十分／女性／40 歳代／北秋田地域)
- もっと進まなければ駄目だけれど、アナログな方々への配慮も必要と思う。(やや不十分／女性／60 歳代／仙北地域)
- 最近は便利になったと実感しているが、理解してついて行くのが大変なところもある。(ふつう／男性／70 歳以上／秋田地域)

(5) 戦略5 健康・医療・福祉戦略について

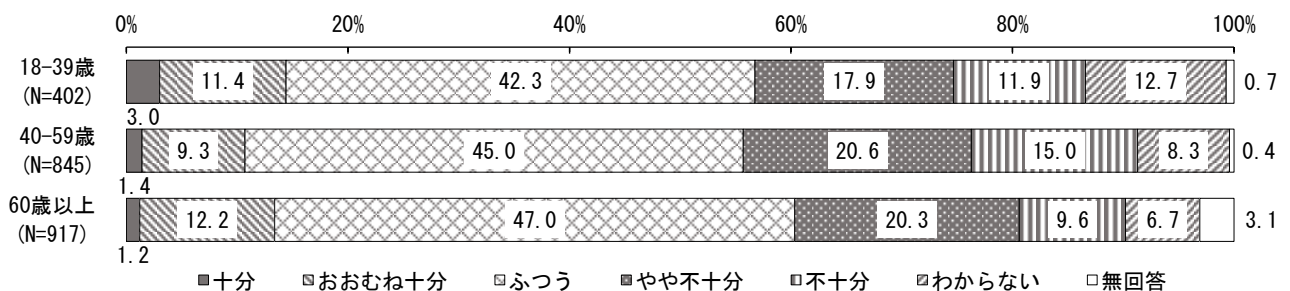
ア 健康寿命日本一の実現

問 1-20 県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



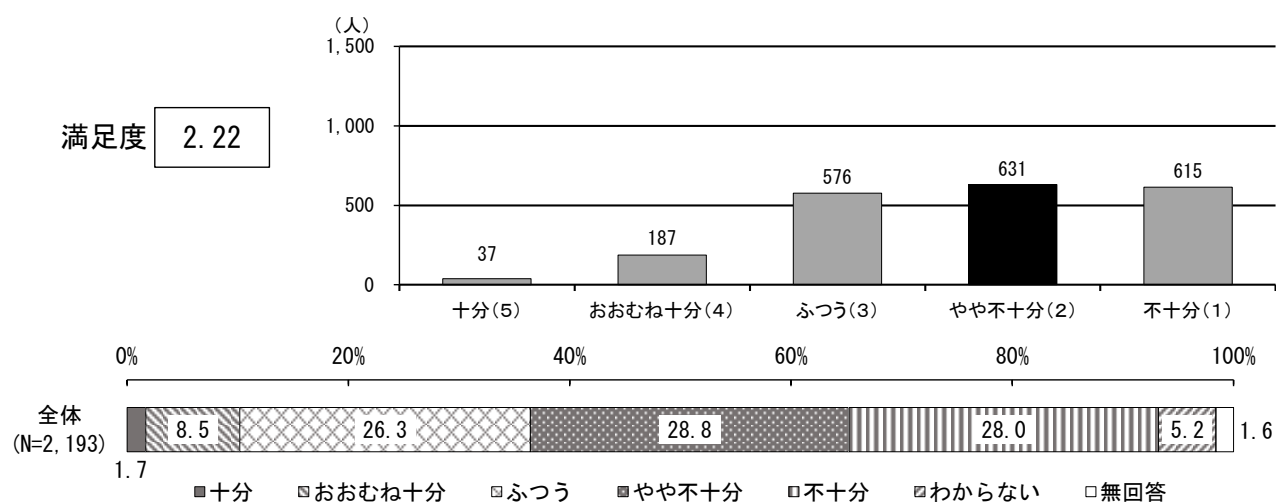
(b) 回答の理由

- ・ 高齢者に特化しがちだが、働いている人や若者、子どもたちの健康づくりに力を入れることが、将来健康寿命を延ばすことにつながると思う。(ふつう／女性／40歳代／鹿角地域)
- ・ 意識している人としていない人の差が大きい。外食の味が濃い。(ふつう／女性／50歳代／由利地域)
- ・ 健康づくりは、本人の意識も大切だが、市町村や医療機関等からの積極的な働きかけが大きく左右すると思う。(ふつう／男性／50歳代／平鹿地域)

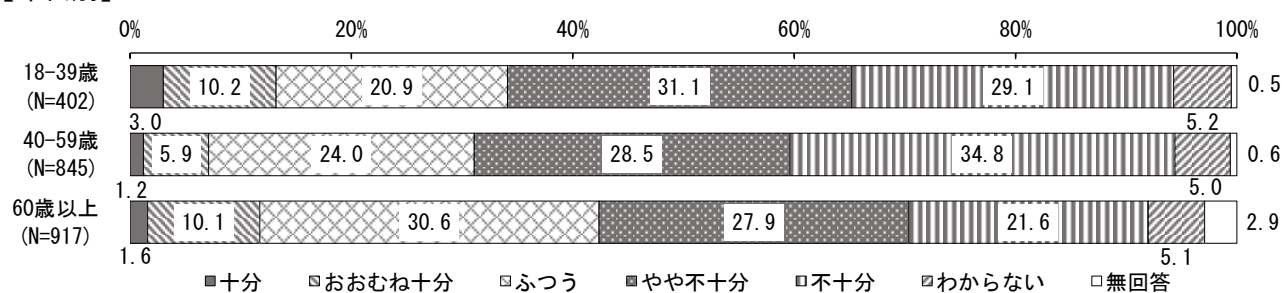
イ 安心で質の高い医療の提供

問 1-21 どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



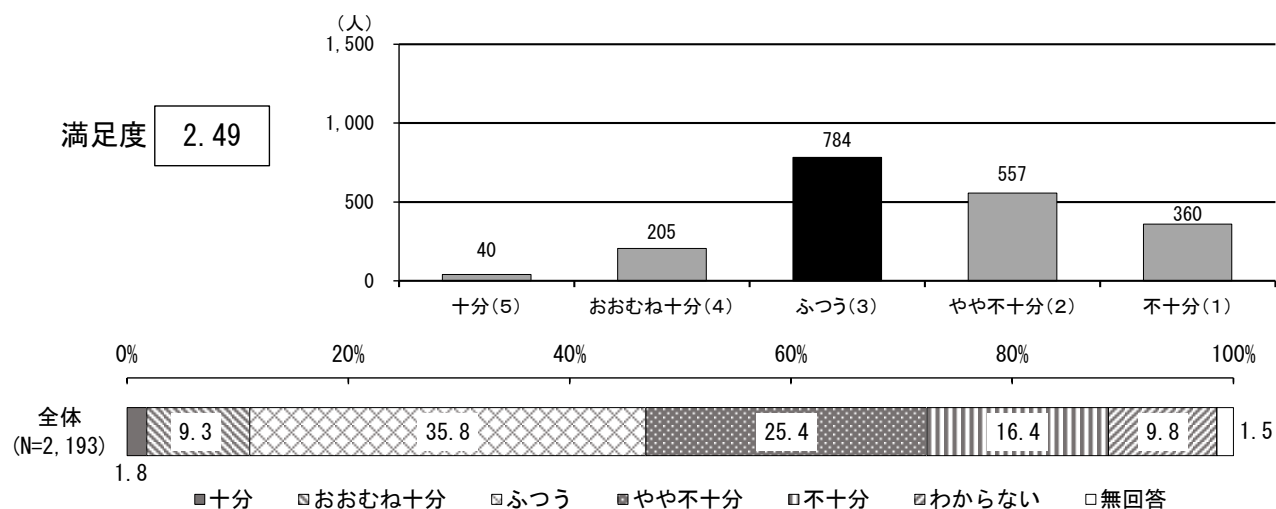
(b) 回答の理由

- ドクターヘリや高速道を利用した救急体制、遠隔医療などがもっと充実してくると、どこに住んでいても安心な気がする。(不十分／男性／60歳代／鹿角地域)
- 秋田市などの中心部では可能だと思うが、少し離れた地域ではまだまだ問題が多いと思う。(やや不十分／女性／50歳代／雄勝地域)
- 訪問看護ステーションをもっと増やし、在宅で高齢者が安心して医療サービスを受けられるように強く希望する。(おおむね十分／女性／60歳代／秋田地域)

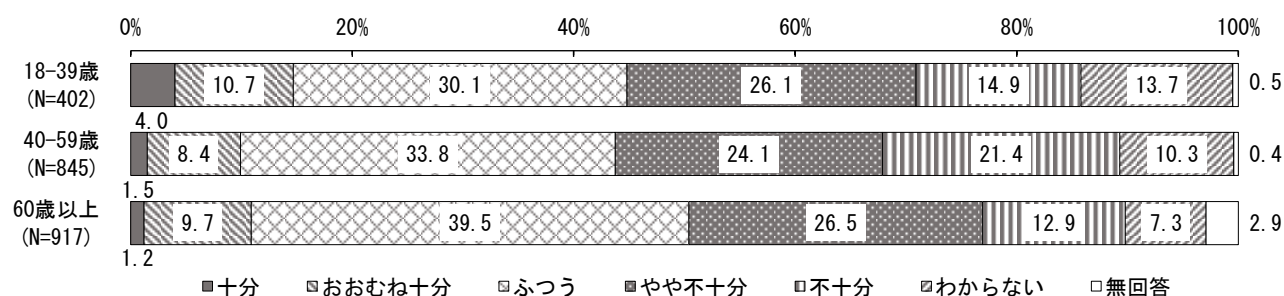
ウ 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

問 1-22 高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



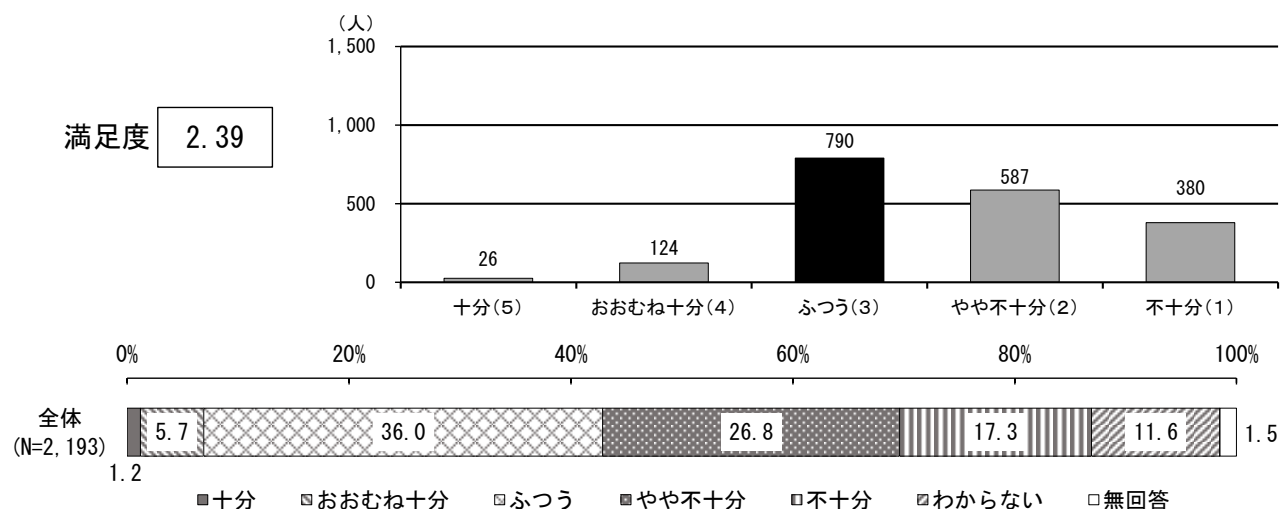
(b) 回答の理由

- 障害があっても、高齢者になっても困らない、地域支援の形をしっかり整備してほしい。(不十分／女性／60歳代／平鹿地域)
- だれもが高齢者、そして障害者になる可能性があることを理解すると、皆が協力的になり、安心して生活できる。(不十分／女性／70歳以上／秋田地域)
- 高齢化が進む中で、介護職員の減少は先行きが不安である。介護職員の処遇改善を着実に進めていくことが大事だと感じる。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)

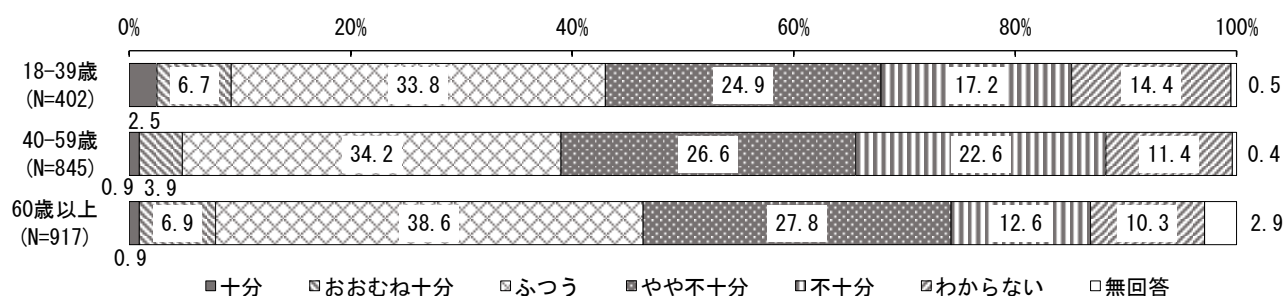
エ 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

問 1-23 相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会となっている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

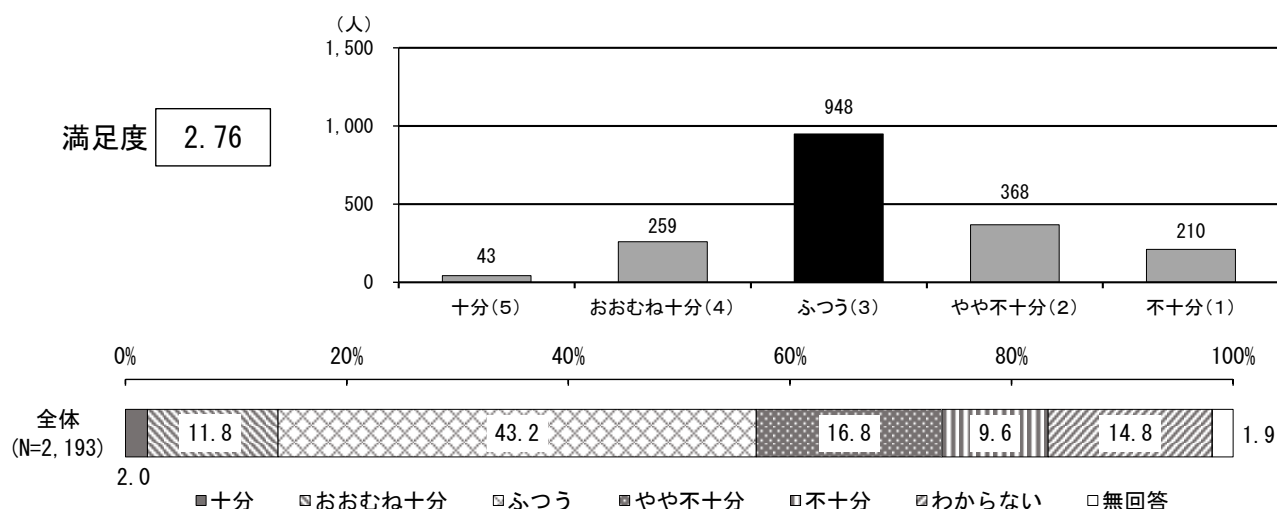
- ・ SOSを出せる場があるのは以前より周知されてきていると思うが、実際に辛い思いをした時に、そういう場に心から頼ることができるのか不安に思う。(やや不十分/女性/40歳代/由利地域)
- ・ 受け入れる側のレベルアップ・ブラッシュアップ等も行われていても、困っている当事者がSOSを出しやすい環境が整っているとは思えない。(やや不十分/男性/50歳代/秋田地域)
- ・ 身近でもフードドライブが行われているし、子ども食堂をやっている人がいるが、まだ十分とは思えない。(ふつう/女性/50歳代/北秋田地域)

(6) 戦略6 教育・人づくり戦略について

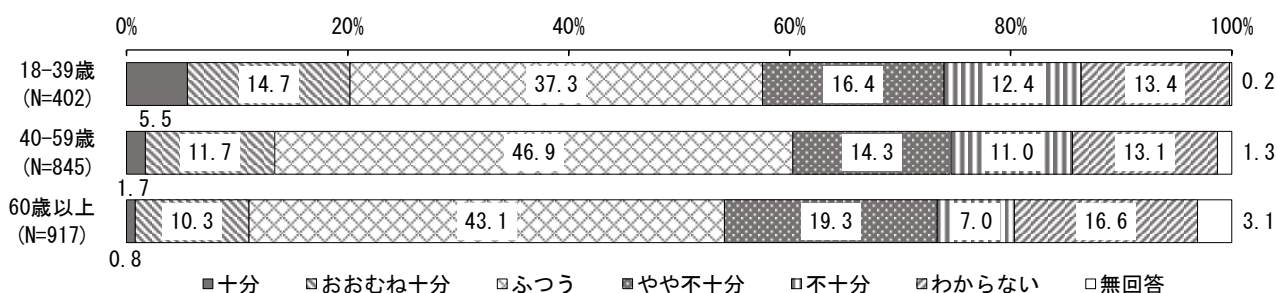
ア 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

問 1-24 学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



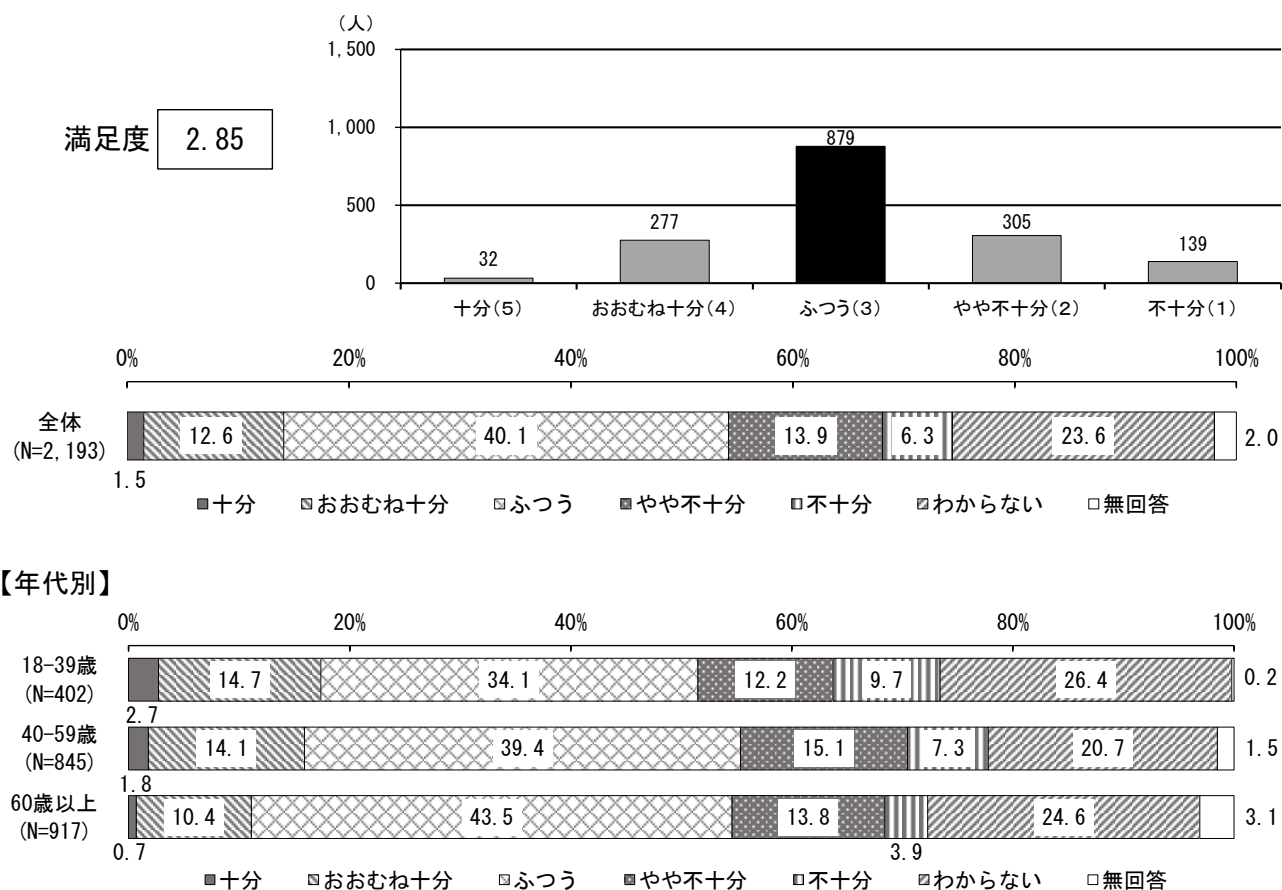
(b) 回答の理由

- 将来を決める段階の学生に対し、もっと秋田の魅力を伝える必要があると思う。(不十分／女性／40歳代／秋田地域)
- ふるさとを愛する心が育まれても、活躍する場所がないと離れざるを得ないのは、残念としか言えない。(ふつう／女性／40歳代／鹿角地域)
- この多様性の社会で、あまり故郷を美化、讃美するのはいかがかと思う。大切にしたい、魅力ある秋田を創るよう心がけてほしい。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)

イ 確かな学力の育成

問 1-25 学校教育を通じて、ＩＣＴを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。

(a) 満足度の状況



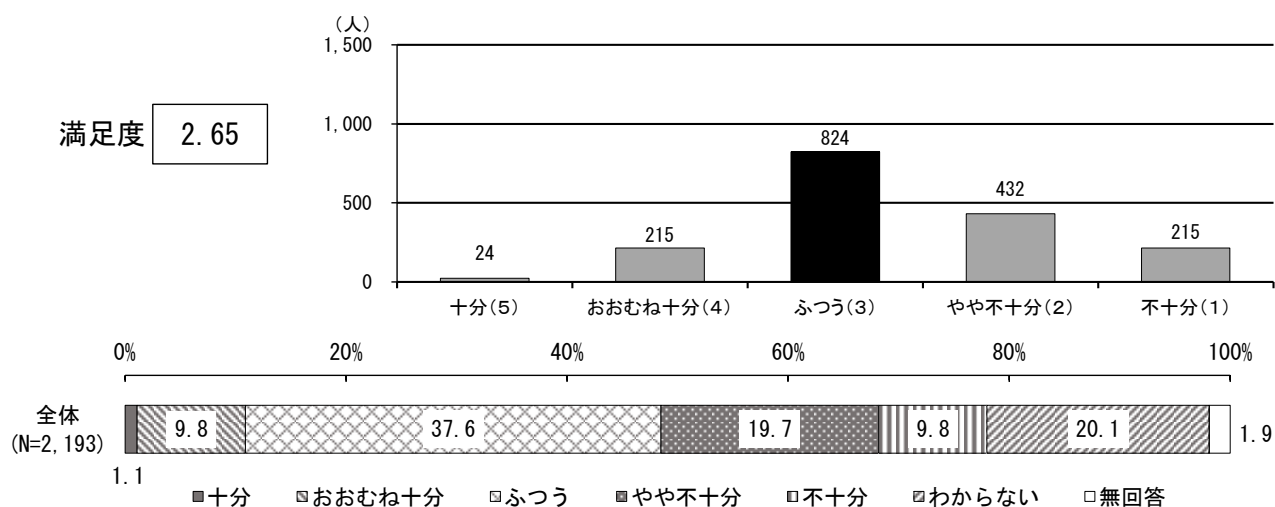
(b) 回答の理由

- ・ 小学校低学年から、ＩＣＴに関して教育できる環境を構築してほしい。(不十分／男性／40歳代／秋田地域)
- ・ ＩＣＴの部分と今までの教育の良さを継続する。バランスが大事で、ＩＣＴだけが大事ではないと思う。(やや不十分／女性／60歳代／平鹿地域)
- ・ タブレットの個人所有などで、ＩＣＴ活用は進んでいるし、使いこなせる子どもが増えていくが、それが「自ら考える主体性のある子どもを育てる」ことに直結するかは疑問である。(ふつう／女性／50歳代／秋田地域)

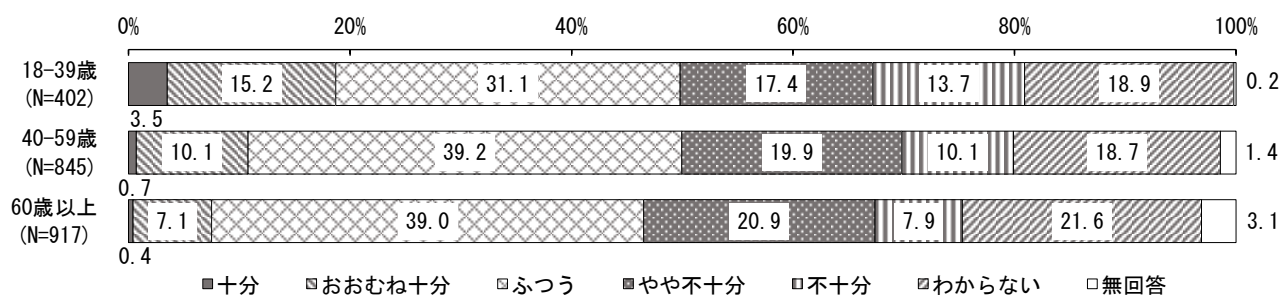
ウ グローバル社会で活躍できる人材の育成

問 1-26 学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



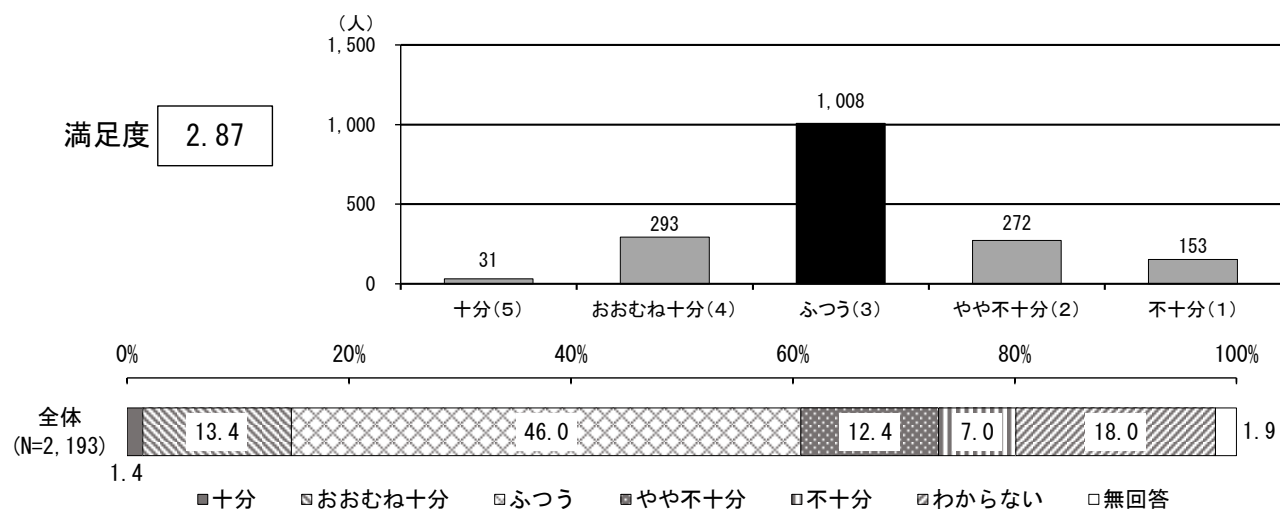
(b) 回答の理由

- 英語は後から学習できるし、翻訳手段も充実しているが、文化への理解と共存への歩み寄り、教育の果たす役割が大きいと思う。(不十分／男性／20歳代／平鹿地域)
- 外国人を英語で案内する行事があるなど、十分に英語コミュニケーション能力が備わっていると思う。(おおむね十分／女性／50歳代／仙北地域)
- 小学校から英語の授業を行っていることを高く評価している。(おおむね十分／男性／60歳代／秋田地域)

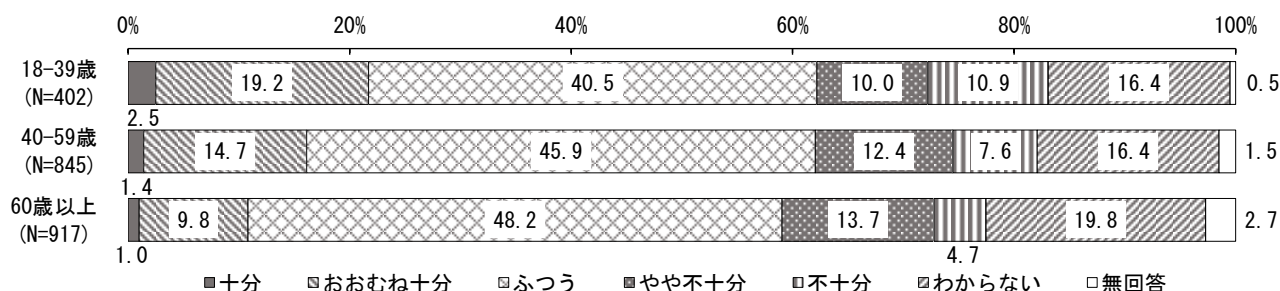
エ 豊かな心と健やかな体の育成

問 1-27 学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



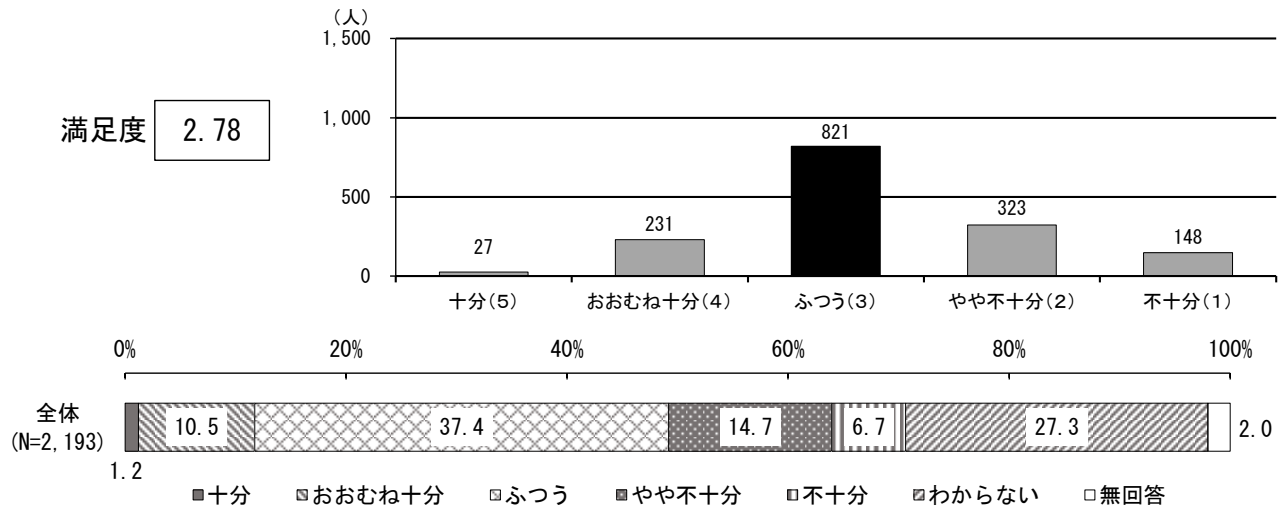
(b) 回答の理由

- 最近は車移動が増え、屋外で身体を動かす機会が減っていると思う。体力づくりの取組が特に必要ではないか。(やや不十分／女性／30歳代／秋田地域)
- たくさんの人と触れ合うことで自分を磨き、形成させてほしい。とにかく人と触れ合うこと、部活であれ、ボランティアであれ、地域との交流もどんどんしてほしい。(ふつう／女性／30歳代／北秋田地域)
- 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合の低下は、将来が非常に心配である。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)

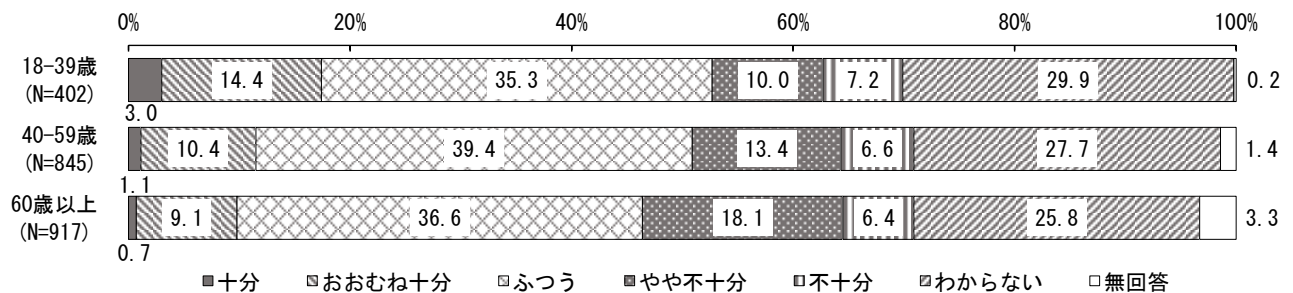
オ 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

問 1-28 県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



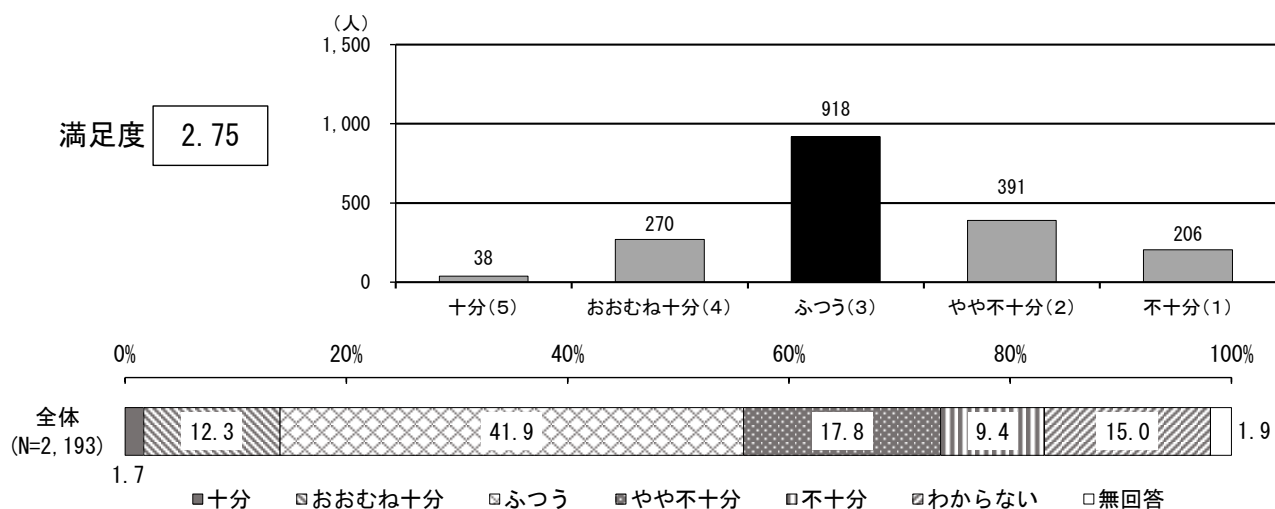
(b) 回答の理由

- 将来を見据えた研究については、継続して県もしくは国が支えてほしい。(やや不十分／男性／60歳代／秋田地域)
- 大学と地域社会や産業とのマッチングを手助けする場やコーディネーターがない。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)
- 県内企業とのコラボなどで学生の活躍を目にすることが多く、良いと思う。(おおむね十分／女性／40歳代／雄勝地域)

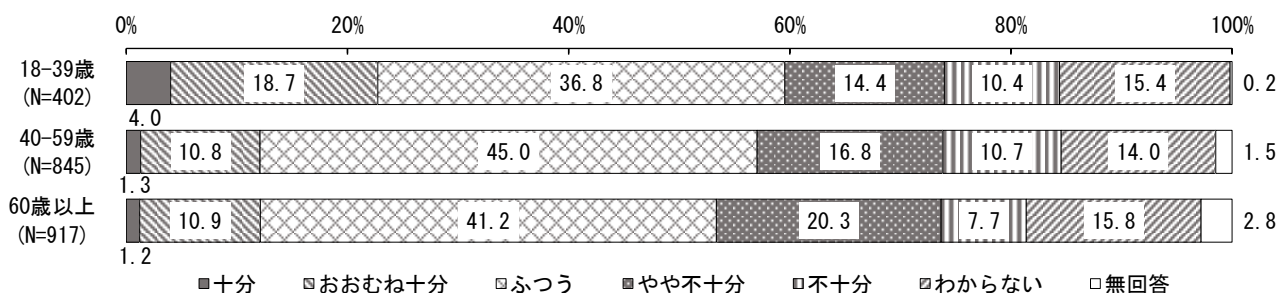
カ 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

問 1-29 県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

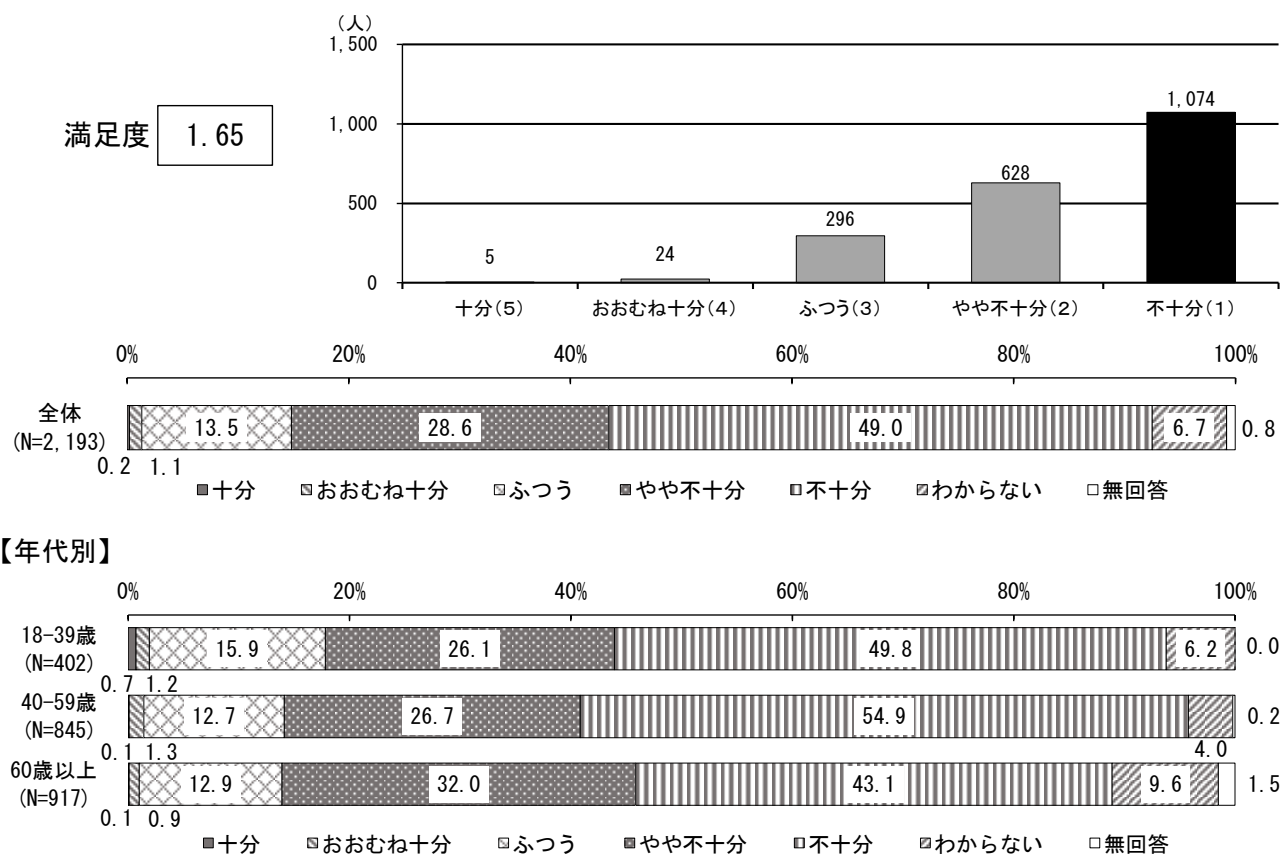
- 地域によっては触れる機会が少ない。(やや不十分/女性/40歳代/北秋田地域)
- 提供されているが、興味関心を持つ県民が少ない気がする。ただし、TVやラジオで紹介されると一気に興味を持ち出すので、それを利用したら良いと思う。(ふつう/女性/40歳代/秋田地域)
- 読書キャンペーンやブックレビューキャンペーンに参加したことがあるので、もっと多くのイベントを行ってほしい。(おおむね十分/男性/40歳代/秋田地域)

(7) 選択・集中プロジェクトなどの重点施策について

ア 賃金水準の向上

問 2-1 県内の「賃金水準が向上」している。

(a) 満足度の状況

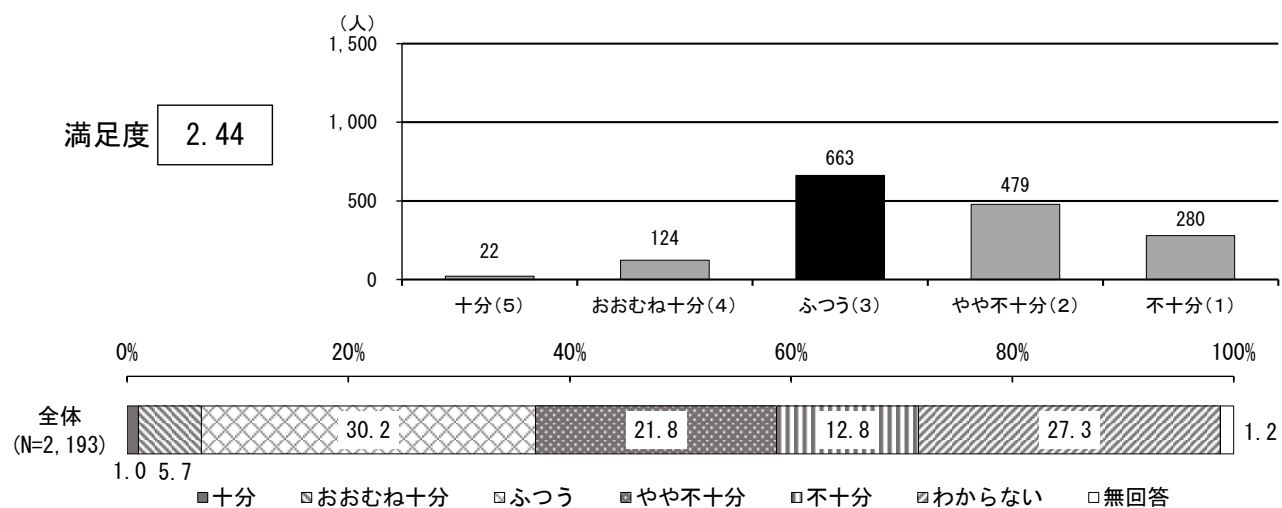


イ カーボンニュートラルへの挑戦

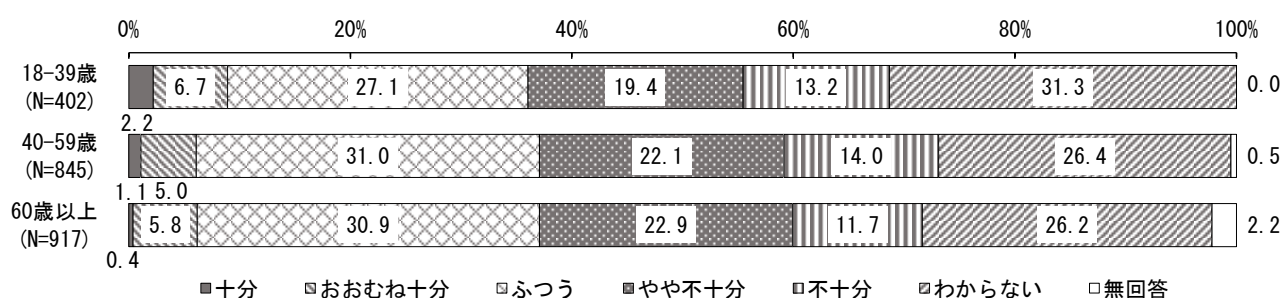
問 2-2 「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。

※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

（a）満足度の状況



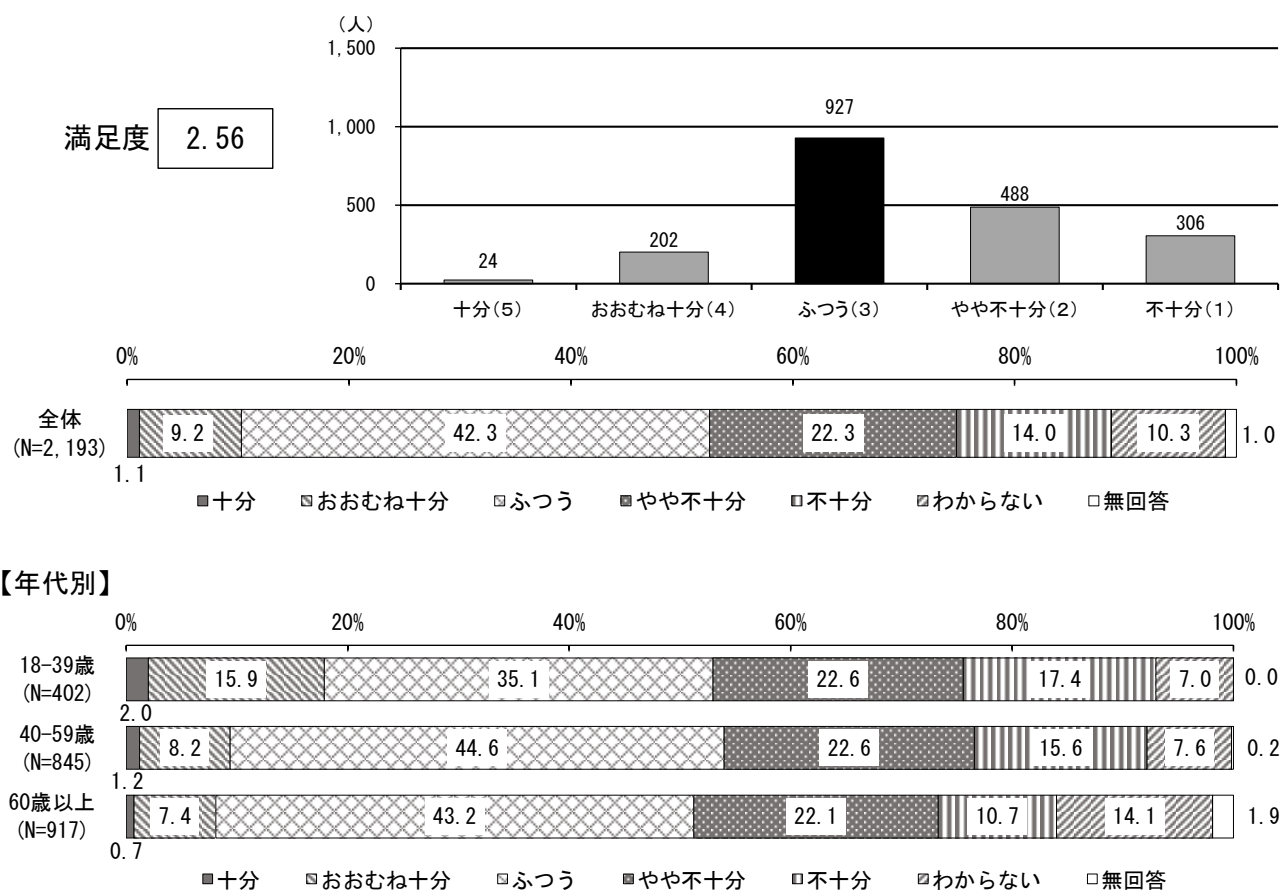
【年代別】



ウ デジタル化の推進

問 2-3 県民生活の様々な場面において、「デジタル化」が進んでいる。

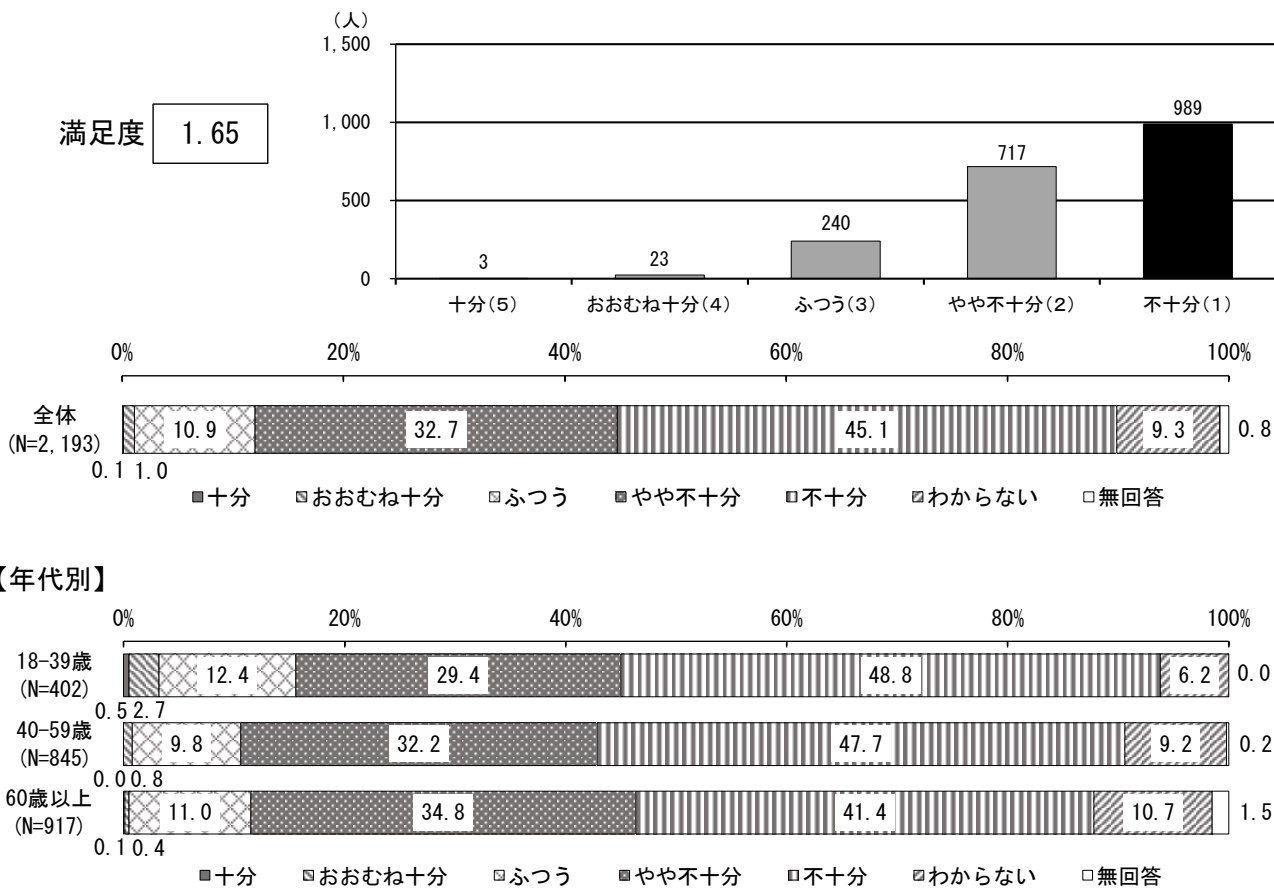
(a) 満足度の状況



エ 若者・女性の県内定着・回帰

問 2-4 「若者・女性の県内定着・回帰」が進んでいる。

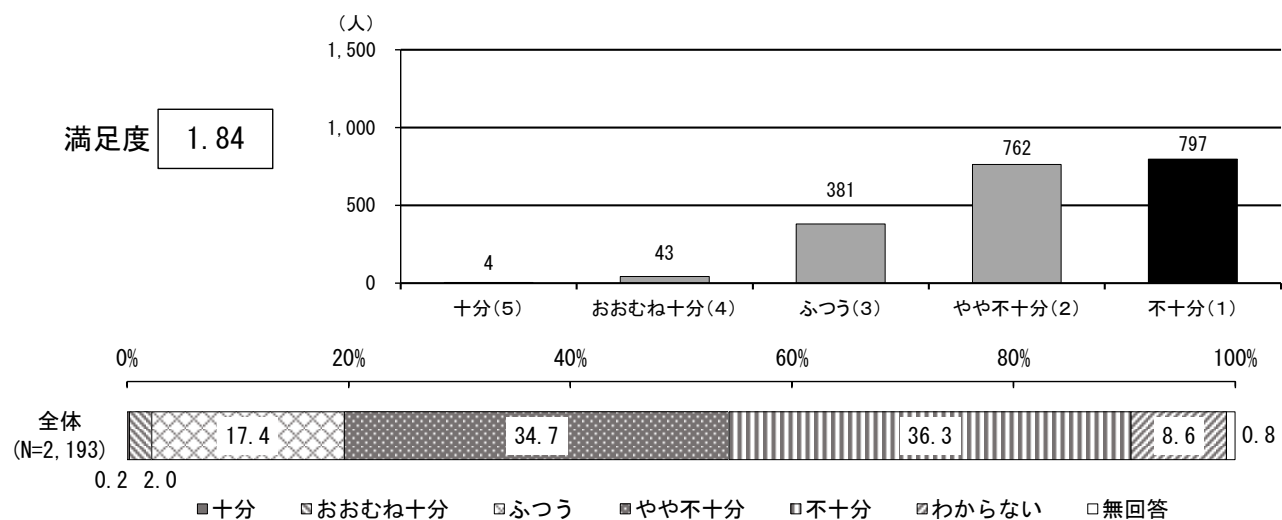
(a) 満足度の状況



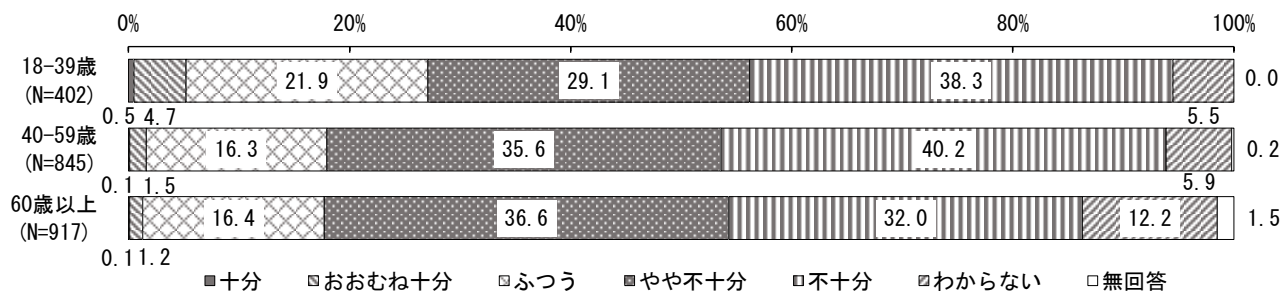
オ 魅力的な働く場の確保

問 2-5 「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。

(a) 満足度の状況



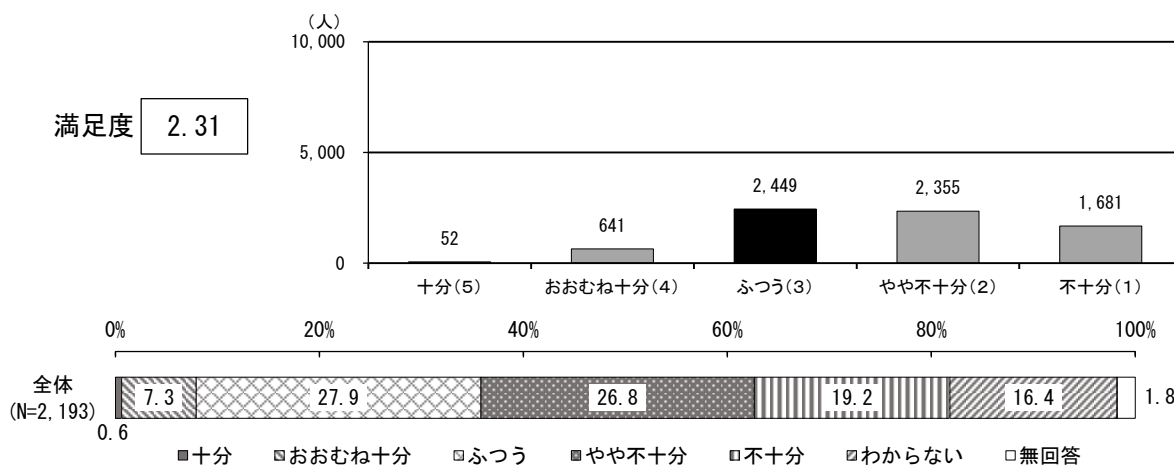
【年代別】



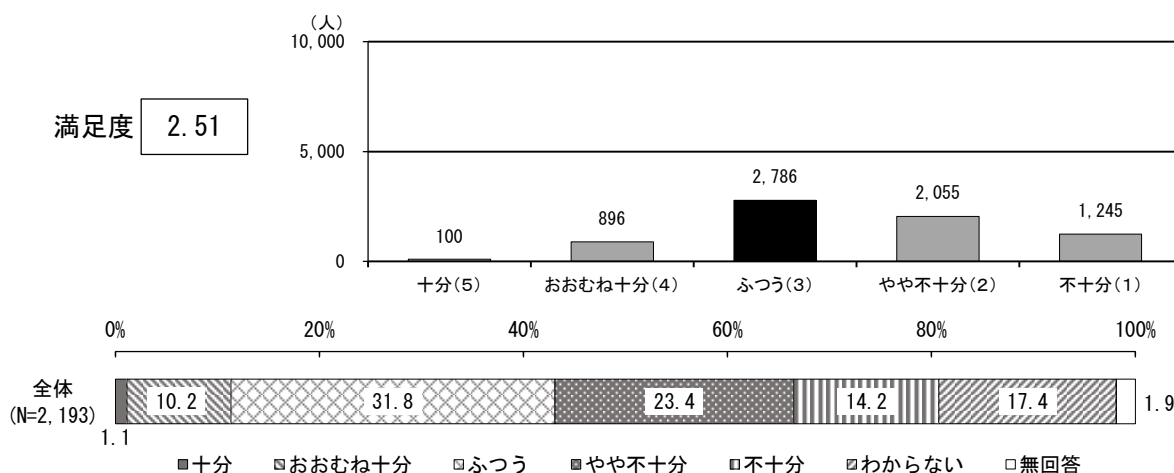
2 (参考) 各戦略の施策に関連する項目についての満足度の平均値

「1 各戦略の施策に関連する項目についての満足度」について、戦略毎に平均値を計算した結果は次のとおりである。

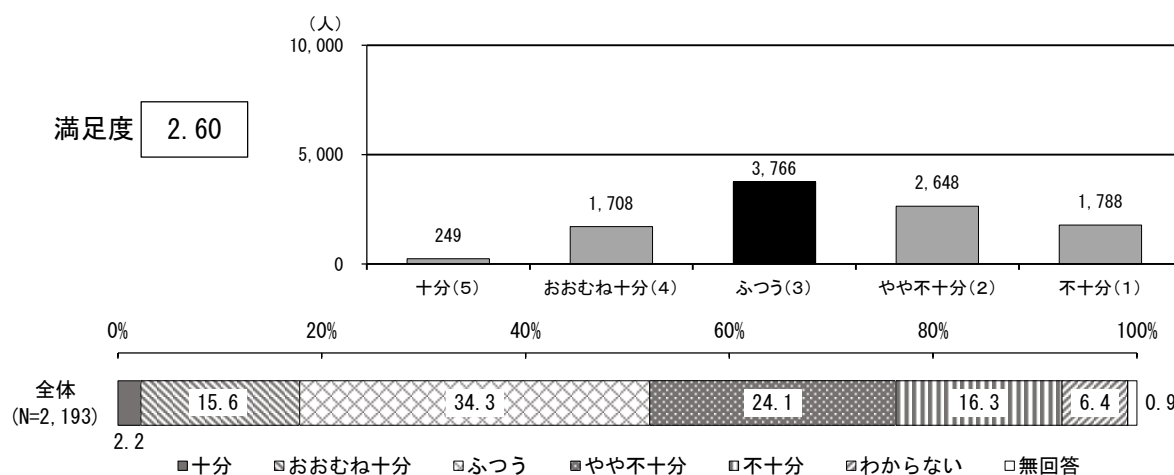
戦略1 産業・雇用戦略（問1-1～問1-4）



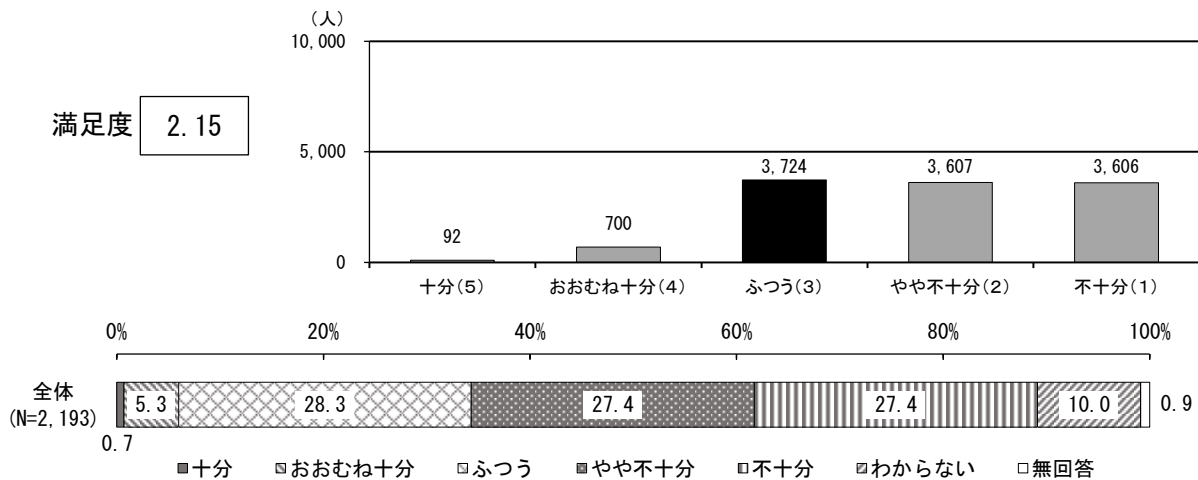
戦略2 農林水産戦略（問1-5～問1-8）



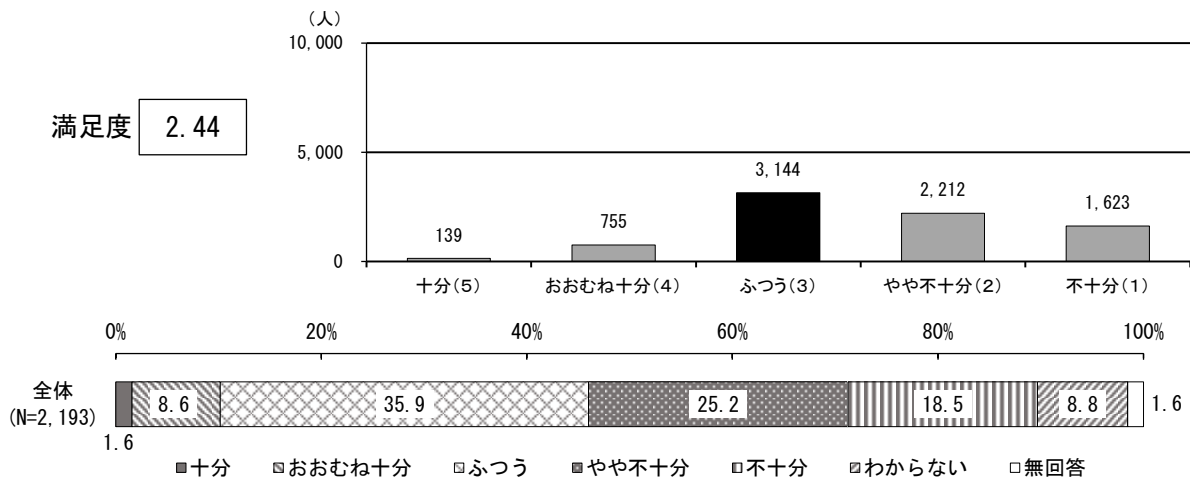
戦略3 観光・交流戦略（問1-9～問1-13）



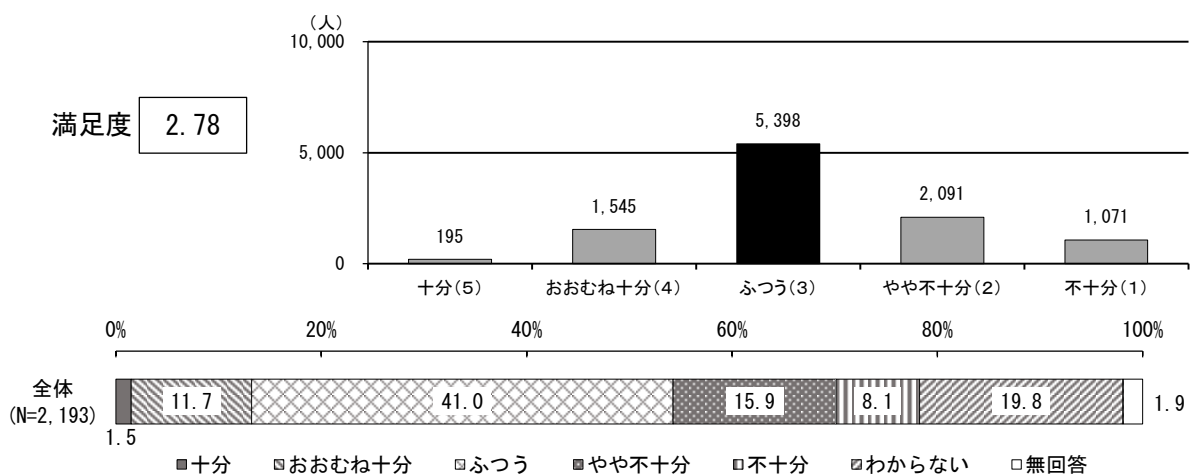
戦略4 未来創造・地域社会戦略（問1-14～問1-19）



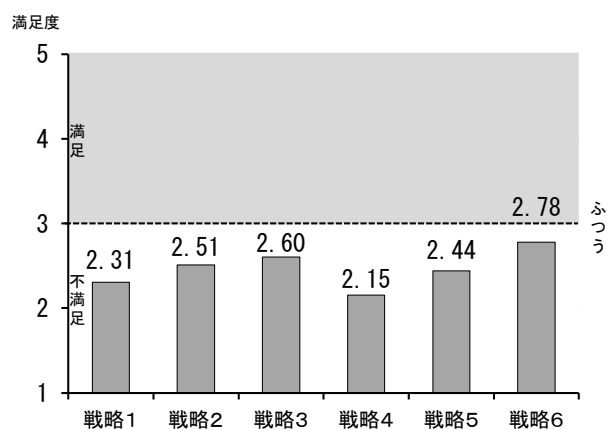
戦略5 健康・医療・福祉戦略（問1-20～問1-23）



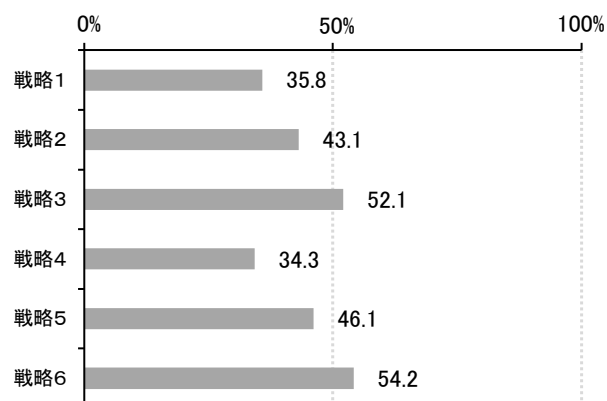
戦略6 教育・人づくり戦略（問1-24～問1-29）



〔満足度の平均〕



〔不満を感じていない人の割合の平均値〕



※「満足度の平均」「不満を感じていない人の割合の平均値」とも、戦略を構成する施策の回答結果の平均値であり、各戦略そのものの満足度、割合ではない。